



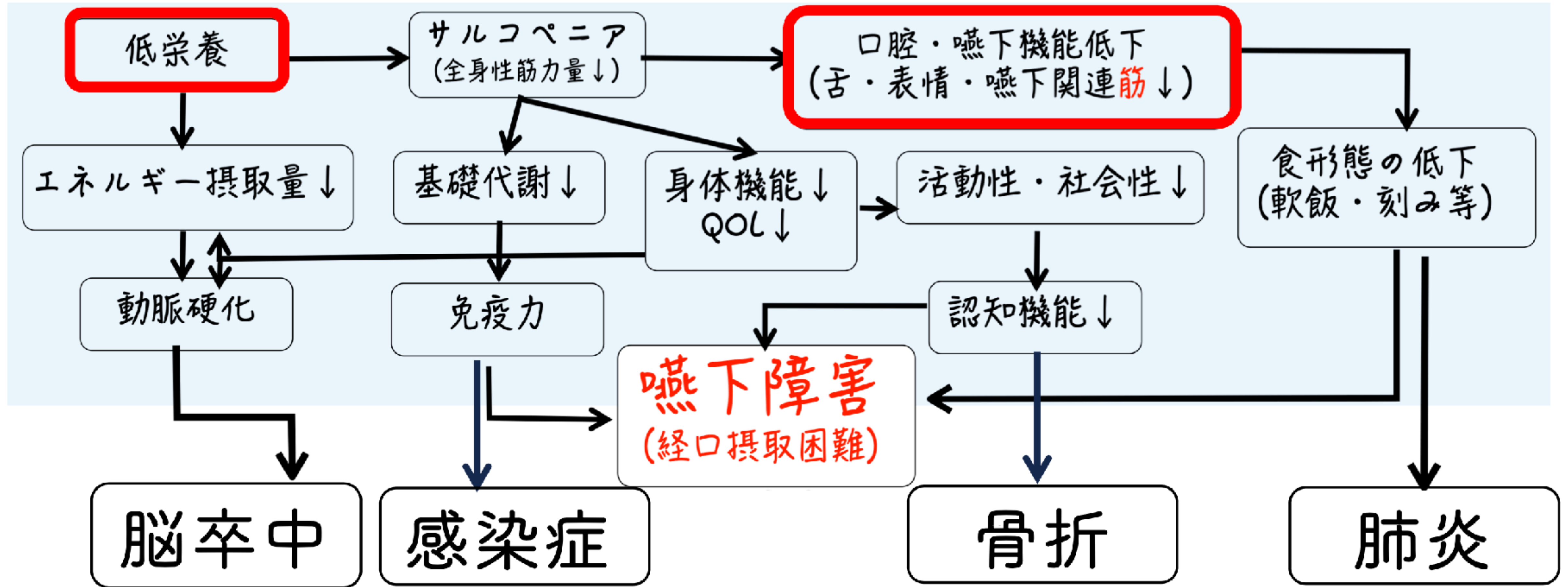
オンラインサロン嚥下セミナー

2月21日 (水) 20:00～

口腔の解剖・役割について

脳外臨床研究会 嚥下セミナー講師 小西 弘晃

地域でよく遭遇する利用者像



『口腔・嚥下・栄養』

早期発見・評価・介入が重要！

令和6年介護報酬改定 口腔嚥下・栄養アセスメントの推進

厚生労働省
DE. CGL. R. G. P. O. R. C.
Ministry of Health, Labour and Welfare

社会保障審議会
介護給付費分科会 (第239回)
令和5年1月22日

参考資料 1

令和6年度介護報酬改定における改定事項について

厚生労働省 老健局

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

1.(1)①訪問・通所リハビリテーションにおけるリハビリテーション、口腔、栄養の一体的取組の推進①

概要 【訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション】

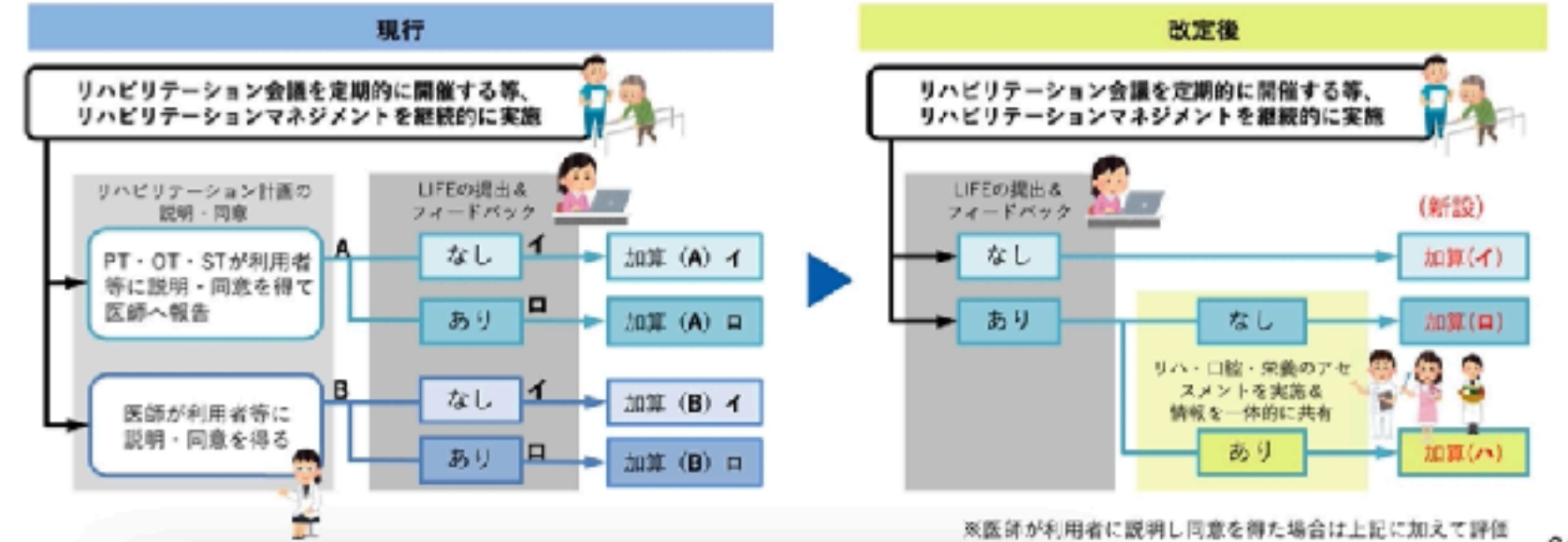
○ リハビリテーション・口腔・栄養を一体的に推進し、自立支援・重度化防止を効果的に進める観点から、通所リハビリテーションにおけるリハビリテーションマネジメント加算について、以下の要件を満たす場合を評価する新たな区分を設ける。

ア 口腔アセスメント及び栄養アセスメントを行っていること。

イ リハビリテーション計画等の内容について、リハビリテーション・口腔・栄養の情報を関係職種間で一体的に共有すること。その際、必要に応じて LIFE に提出した情報を活用していること。

ウ 共有した情報を踏まえ、リハビリテーション計画について必要な見直しを行い、見直しの内容について関係職種に対し共有していること。

また、報酬体系の簡素化の観点から、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションのリハビリテーションマネジメント加算 (B) の要件について新規区分とし、加算区分を整理する。【告示改正】



2.(1)①訪問・通所リハビリテーションにおけるリハビリテーション、口腔、栄養の一体的取組の推進③

単位数	
○ 通所リハビリテーション ＜現行＞ リハビリテーションマネジメント加算(A)イ 同意日の属する月から6月以内 560単位/月、6月超 240単位/月 リハビリテーションマネジメント加算(A)ロ 同意日の属する月から6月以内 593単位/月、6月超 273単位/月 リハビリテーションマネジメント加算(B)イ 同意日の属する月から6月以内 830単位/月、6月超 510単位/月 リハビリテーションマネジメント加算(B)ロ 同意日の属する月から6月以内 863単位/月、6月超 543単位/月	＜改定後＞ リハビリテーションマネジメント加算(イ) 同意日の属する月から6月以内 560単位/月、6月超 240単位/月 リハビリテーションマネジメント加算(ロ) 同意日の属する月から6月以内 593単位/月、6月超 273単位/月 廃止 リハビリテーションマネジメント加算(ハ) (新設) 同意日の属する月から6月以内 793単位/月、6月超 473単位/月 ※医師が利用者またはその家族に説明した場合 上記に加えて270単位 (新設・Bの要件の組み替え)
算定要件等	
○ 通所リハビリテーション ＜リハビリテーションマネジメント加算(イ)＞ 現行のリハビリテーションマネジメント加算(A)イと同要件を設定。 ＜リハビリテーションマネジメント加算(ロ)＞ 現行のリハビリテーションマネジメント加算(A)ロと同要件を設定。 ＜リハビリテーションマネジメント加算(ハ)＞ (新設) ・リハビリテーションマネジメント加算(ロ)の要件を満たしていること。 ・事業所の従業員として、又は外部との連携により管理栄養士を1名以上配置していること。 ・利用者ごとに、多職種が共同して栄養アセスメント及び口腔アセスメントを行っていること。 ・利用者ごとに、言語聴覚士、言語聴覚士、歯科衛生士又は看護職員がその他の職種の者と共同して口腔の健康状態を評価し、当該利用者の口腔の健康状態に係る解決すべき課題の把握を行っていること。 ・利用者ごとに、関係職種が、通所リハビリテーション計画の内容の情報等や、利用者の口腔の健康状態に関する情報及び利用者の栄養状態に関する情報を相互に共有すること。 ・共有した情報を踏まえ、必要に応じて通所リハビリテーション計画を見直し、当該見直しの内容を関係職種に対して情報提供していること。 ＜リハビリテーション事業所の医師が利用者又はその家族に対して説明し、利用者の同意を得た場合＞ ・現行の(B)の医師の説明に係る部分と同要件を設定。	

- * 多職種が共同して **口腔・栄養アセスメント** を実施している
- * 言語聴覚士・歯科衛生士・看護職員がその他の職員と共同して口腔の健康状態を評価し、解決すべき課題の把握を行なっていること
- * リハビリテーション・口腔・栄養の情報を **関係職種間で共有** している
- * 必要に応じて LIFE 提出を行い、活用していること

リハビリ、栄養、口腔の取組は一体となって運用されることで、より効果的な自立支援・重度化予防につながることを期待される。

医師、歯科医師、リハ専門職、管理栄養士、歯科衛生士等の
多職種による総合的なリハ、機能訓練、口腔・栄養管理

- ・筋力・持久力の向上
- ・活動量に応じた適切な栄養摂取量の調整
- ・低栄養の予防・改善
- ・食欲の増進

リハビリテーション・
機能訓練



- ・口腔・嚥下機能の維持・改善
- ・口腔衛生や全身管理による誤嚥性肺炎の予防

栄養



口腔



・適切な食事形態・摂取方法の提供 ・食事摂取量の維持・改善 ・経口摂取の維持

- ・リハビリの負荷又は活動量に応じて、必要なエネルギー量や栄養素を調整することが、筋力・持久力の向上及びADL維持・改善に重要である。
- ・誤嚥性肺炎の予防及び口腔・嚥下障害の改善には、医科歯科連携を含む多職種連携が有効である。
- ・口腔・嚥下機能を適切に評価することで、食事形態・摂取方法の提供及び経口摂取の維持が可能となる。



口腔アセスメントの実際



<基本情報>

義歯の有無・食形態等・誤嚥性肺炎の既往

口腔機能向上サービスに関する計画書（様式例）

氏名（ふりがな）	
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年月日	<input type="checkbox"/> 明治 <input type="checkbox"/> 大正 <input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 誕生月 ●● 日 ●●
かかりつけ歯科医	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
入れ歯の使用	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
食形態等	経口摂取(<input type="checkbox"/> 常食 <input type="checkbox"/> 嚥下調整食 (□4 □3 □2-2 □2-1 □1)) <input type="checkbox"/> 0 t <input type="checkbox"/> 0 j) □経腸栄養 □静脈栄養
誤嚥性肺炎の発症・罹患	<input type="checkbox"/> あり (発症日: 令和●●年●●月●●日) <input type="checkbox"/> なし

<アセスメント内容>

- ①口腔衛生状態
口臭・汚れ・義歯の汚れ・舌苔
- ②口腔機能
食べこぼし・舌の動き・むせ・痰がらみ・口腔乾燥
- ③特記事項
歯（う蝕）・義歯（適合）、歯周病、口腔粘膜の疾患の可能性
音声・言語機能に関する疾患の可能性
その他

1 スクリーニング、アセスメント、モニタリング

令和●●年●●月●●日	
記入者●●●●	
<input type="checkbox"/> 看護職員 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 言語聴覚士	
口腔衛生状態	口臭 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 分からない
	歯の汚れ <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 分からない
	義歯の汚れ <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 分からない
	舌苔 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 分からない
口腔機能	食べこぼし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 分からない
	舌の動きが悪い <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 分からない
	むせ <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 分からない
	痰がらみ <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 分からない
	口腔乾燥 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 分からない
特記事項	<input type="checkbox"/> 歯（う蝕、修復物脱落等）、義歯（義歯不適合等）、歯周病、口腔粘膜（潰瘍等）の疾患の可能性
	<input type="checkbox"/> 音声・言語機能に関する疾患の可能性
	<input type="checkbox"/> その他（ ）

2 口腔機能改善管理計画

作成日： 令和●●年●●月●●日	
計画立案者	<input type="checkbox"/> 看護職員 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 言語聴覚士
サービス提供者	<input type="checkbox"/> 看護職員 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 言語聴覚士
目標	<input type="checkbox"/> 口腔衛生（ <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 改善（ ）） <input type="checkbox"/> 摂食・嚥下機能（ <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 改善（ ）） <input type="checkbox"/> 食形態（ <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 改善（ ）） <input type="checkbox"/> 音声・言語機能（ <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 改善（ ）） <input type="checkbox"/> 誤嚥性肺炎の予防 <input type="checkbox"/> その他（ ）
実施内容	<input type="checkbox"/> 摂食・嚥下等の口腔機能に関する指導 <input type="checkbox"/> 口腔清掃、口腔清浄に関する指導 <input type="checkbox"/> 音声・言語機能に関する指導 <input type="checkbox"/> その他（ ）

<口腔機能改善計画書>

目標・実施内容

3 実施記録

実施年月日	●●年●●月●●日
サービス提供者	●●●●
	<input type="checkbox"/> 看護職員 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 言語聴覚士
口腔清掃、口腔清浄に関する指導	<input type="checkbox"/> 実施
摂食・嚥下等の口腔機能に関する指導	<input type="checkbox"/> 実施
音声・言語機能に関する指導	<input type="checkbox"/> 実施
その他（ ）	<input type="checkbox"/> 実施

<実施記録>

実施日・指導内容

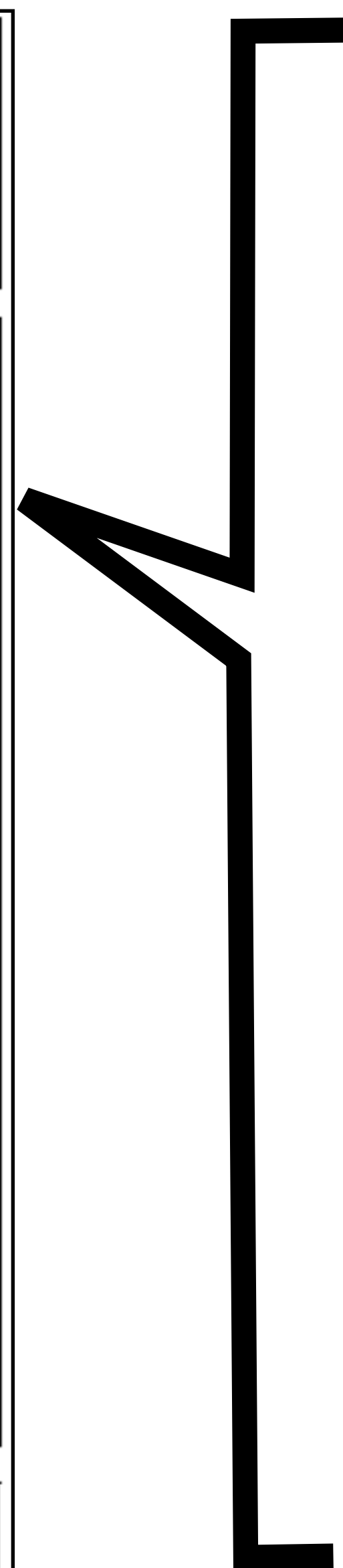


口腔嚥下・栄養の視点↑
スタッフ育成



リハビリ・個別機能訓練、栄養管理、口腔管理に係る実施計画書

氏名： 殿		入所(院)日： 年 月 日	
作成者： リハ		初回作成日： 年 月 日	
リハ		作成(変更)日： 年 月 日	
利用者及び		説明日 年 月 日	
リハビリテーション・個別機能訓練		栄養	
リハビリテーション・個別機能訓練		栄養、経口移行*1・維持*2	
解決すべき課題(ニーズ)		口腔	
長期目標・期間		口腔	
短期目標・期間		口腔	
具体的なケア内容		口腔	
担当職種： 、期間： 、頻度：週 回、時間： 分/回		担当職種： 、期間： 、頻度：週 回	
<input type="checkbox"/> リハビリテーションマネジメント(介護老人保健施設) <input type="checkbox"/> 個別機能訓練加算 <input type="checkbox"/> 理学療法 <input type="checkbox"/> 作業療法 <input type="checkbox"/> 言語聴覚療法 <input type="checkbox"/> 理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算(介護医療院) <input type="checkbox"/> 栄養マネジメント強化加算 <input type="checkbox"/> 経口移行加算*1 <input type="checkbox"/> 経口維持加算*2 (□I □II) <input type="checkbox"/> 療養食加算 <input type="checkbox"/> 口腔衛生管理加算(I) <input type="checkbox"/> 口腔衛生管理加算(II)			



<h2>口腔</h2>
<h2>口腔</h2>
<input type="checkbox"/> 口腔衛生状態 (□ 歯の汚れ、□ 義歯の汚れ、□ 舌苔、□ 口臭) <input type="checkbox"/> 口腔機能の状態 (□ 食べこぼし、□ 舌の動きが悪い、□ むせ、□ 痰がらみ、□ 口腔乾燥) <input type="checkbox"/> 歯の本数 () 本 <input type="checkbox"/> 歯の問題 (□ う蝕、□ 歯の破折、□ 修復物脱落、□ その他 ()) <input type="checkbox"/> 義歯の問題 (□ 不適合、□ 破損、□ その他 ()) <input type="checkbox"/> 歯周病 <input type="checkbox"/> 口腔粘膜疾患 (潰瘍等)
<input type="checkbox"/> 口腔衛生状態 (□ 歯の汚れ、□ 義歯の汚れ、□ 舌苔、□ 口臭) <input type="checkbox"/> 口腔機能の状態 (□ 食べこぼし、□ 舌の動きが悪い、□ むせ、□ 痰がらみ、□ 口腔乾燥) <input type="checkbox"/> 歯の本数 () 本 <input type="checkbox"/> 歯の問題 (□ う蝕、□ 歯の破折、□ 修復物脱落、□ その他 ()) <input type="checkbox"/> 義歯の問題 (□ 不適合、□ 破損、□ その他 ()) <input type="checkbox"/> 歯周病 <input type="checkbox"/> 口腔粘膜疾患 (潰瘍等)



口腔とは？

口腔とは大きく口を開けた時に見える口の中をいう。

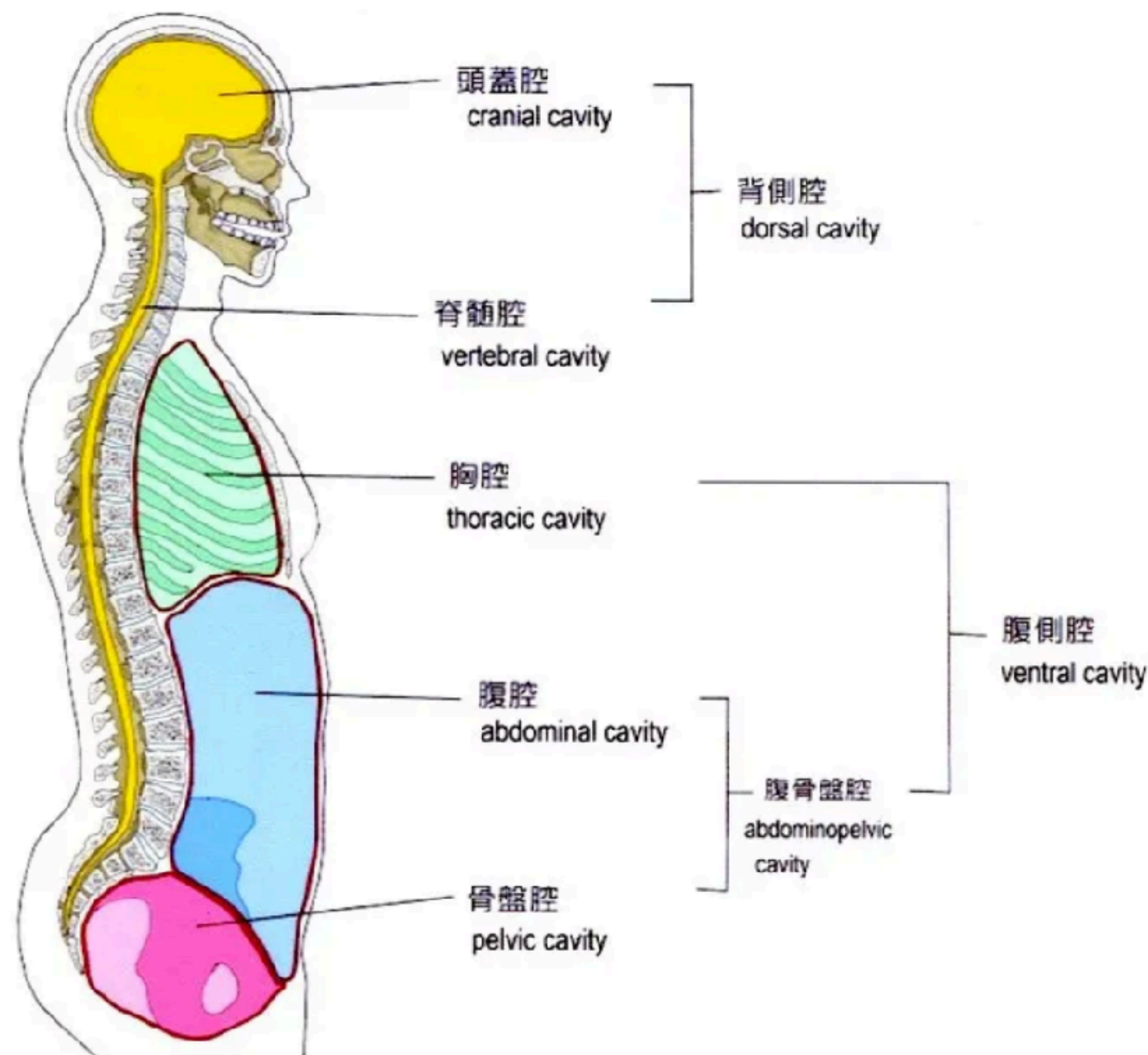
『腔』は、うつろ・中空という意味で「からっぽ、がらんどう」を表わす

* 口腔

* 鼻腔

* 胸腔

* 腹腔



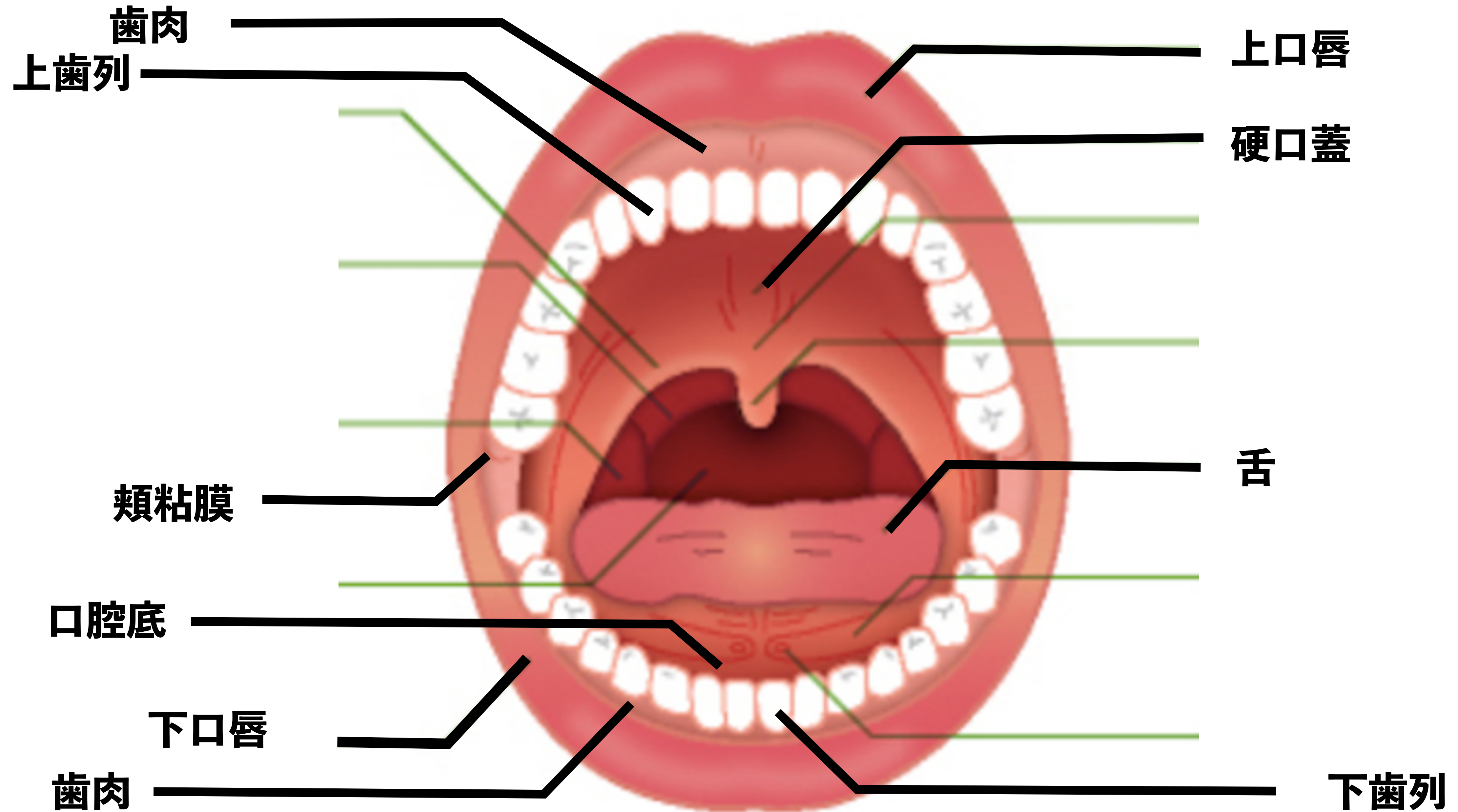


口腔の解剖について

- ・ 入り口は上下の唇からなっている。
- ・ さらに舌、口腔底（舌と歯ぐきの間）、上下の歯肉（歯ぐき）、頬粘膜（頬の内側）、硬口蓋（口の天井）に分けることができる。
- ・ 硬口蓋の後方は軟口蓋、口蓋垂に連続している。
- ・ 歯以外の口腔は重層扁平上皮からなる粘膜で覆われ、粘膜の下には唾液腺（小唾液腺）がある
- ・ 上下の顎（あご）にはそれぞれ成人では14～16本の永久歯が、小児では10本の乳歯が生えている。
- ・ 口腔には耳下腺、顎下腺、舌下腺（大唾液腺）の管が開いており、そこから唾液が出て粘膜を潤している

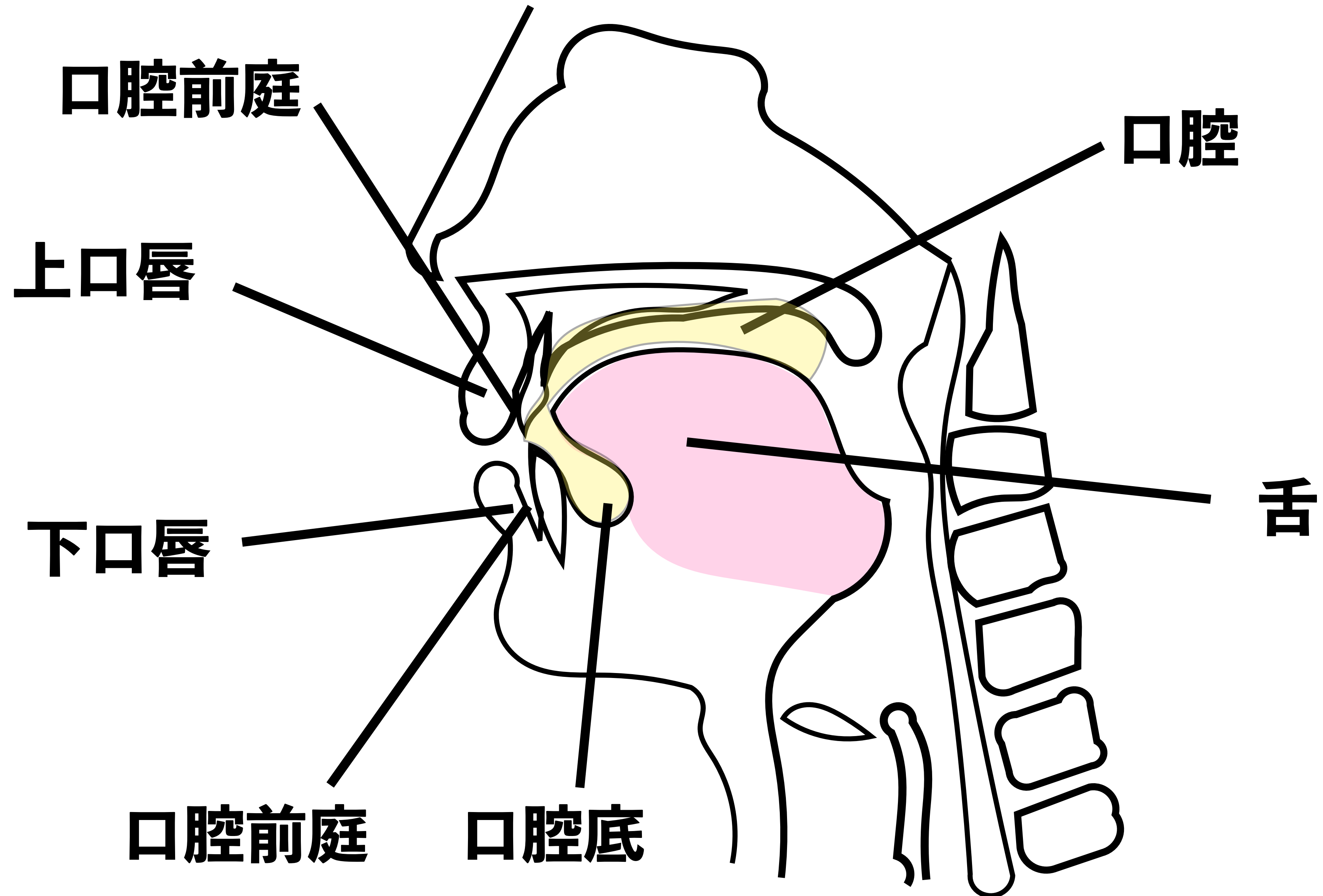


口腔の解剖について





口腔の解剖について



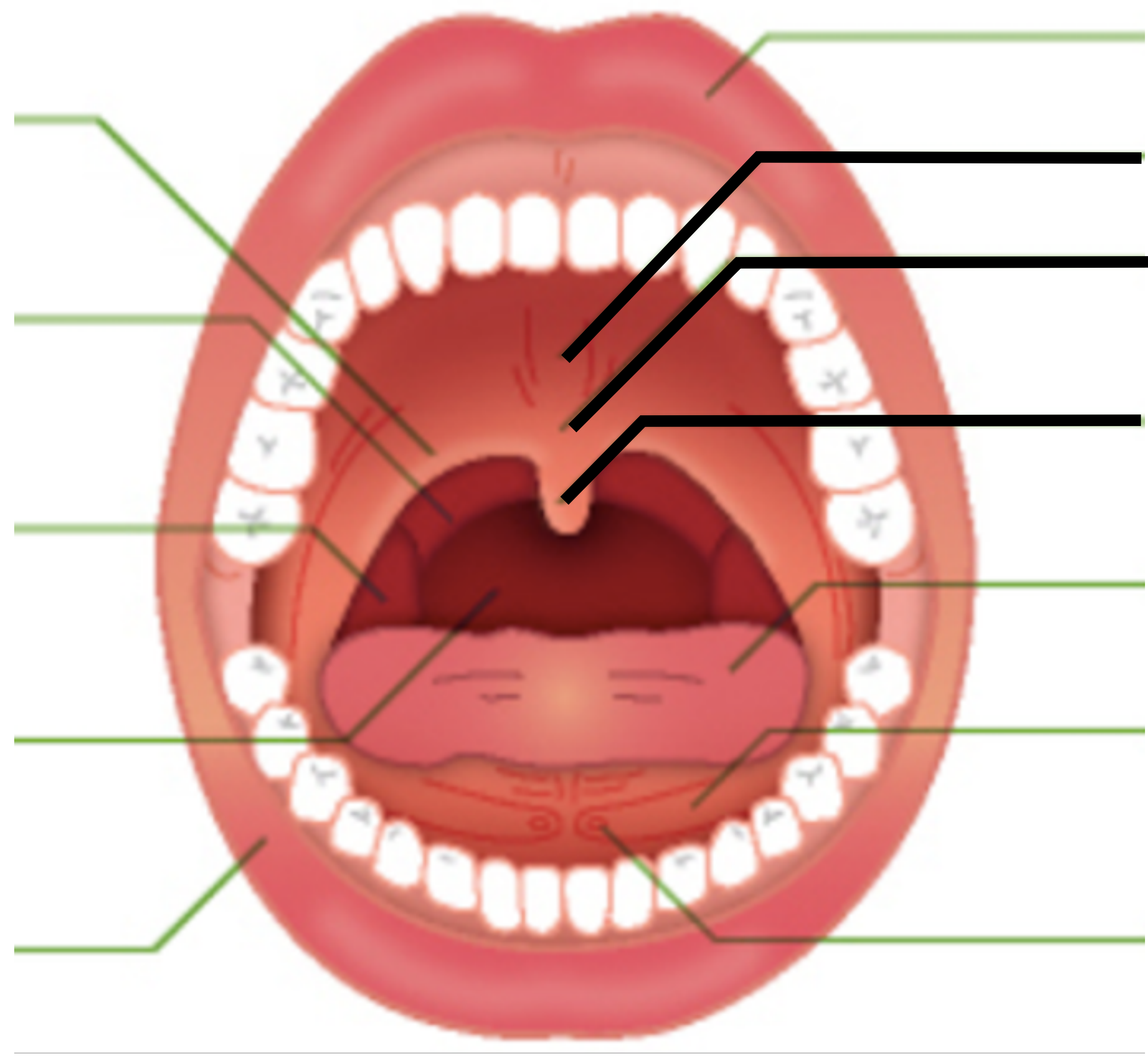


口腔の解剖について

- ・ 入り口は上下の唇からなっている。
- ・ さらに舌、口腔底（舌と歯ぐきの間）、上下の歯肉（歯ぐき）、頬粘膜（頬の内側）、硬口蓋（口の天井）に分けることができる。
- ・ 硬口蓋の後方は軟口蓋、口蓋垂に連続している。
- ・ 歯以外の口腔は重層扁平上皮からなる粘膜で覆われ、粘膜の下には唾液腺（小唾液腺）がある
- ・ 上下の顎（あご）にはそれぞれ成人では14～16本の永久歯が、小児では10本の乳歯が生えている。
- ・ 口腔には耳下腺、顎下腺、舌下腺（大唾液腺）の管が開いており、そこから唾液が出て粘膜を潤している



口腔の解剖について（口蓋の解剖）



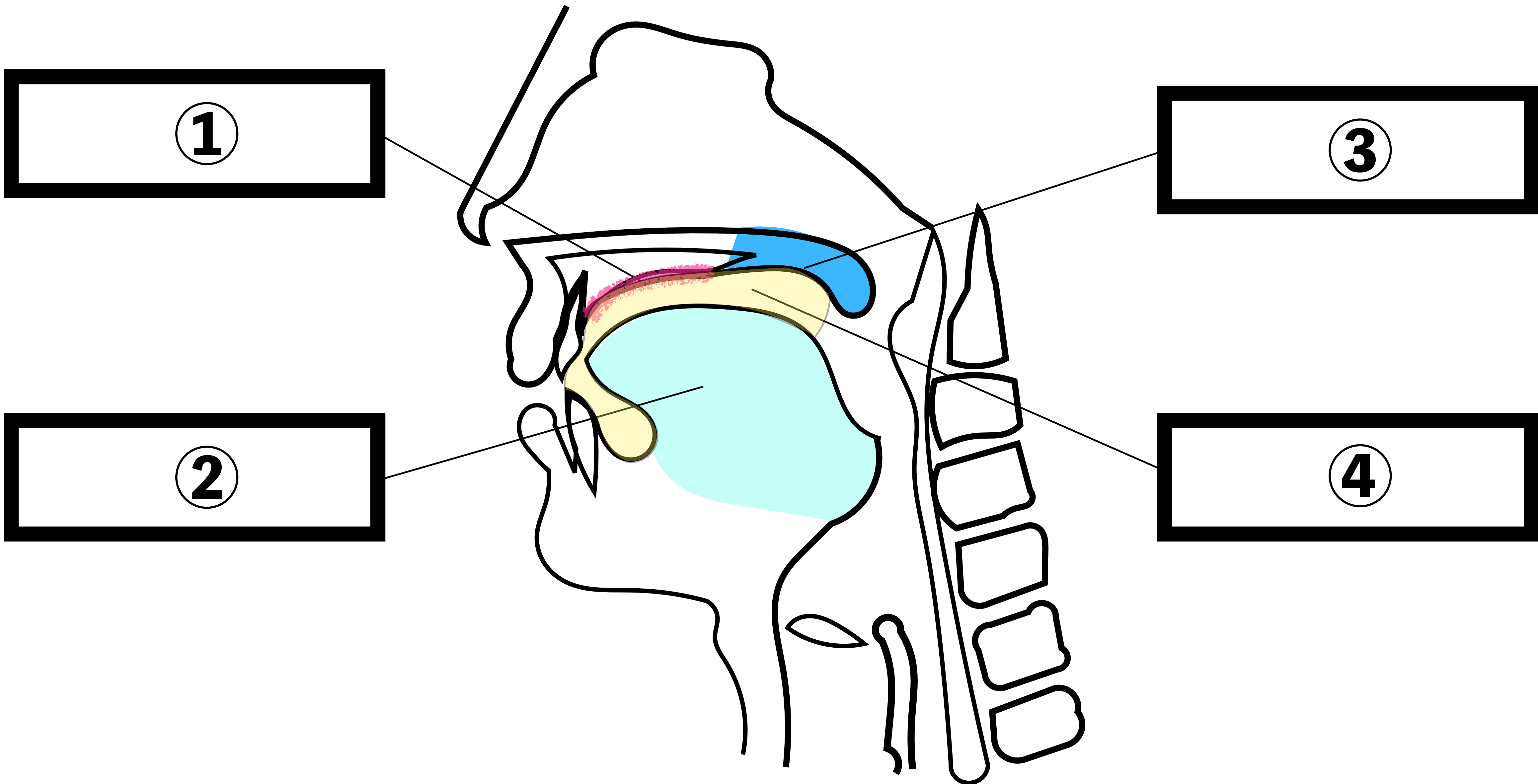
硬口蓋

軟口蓋

口蓋垂

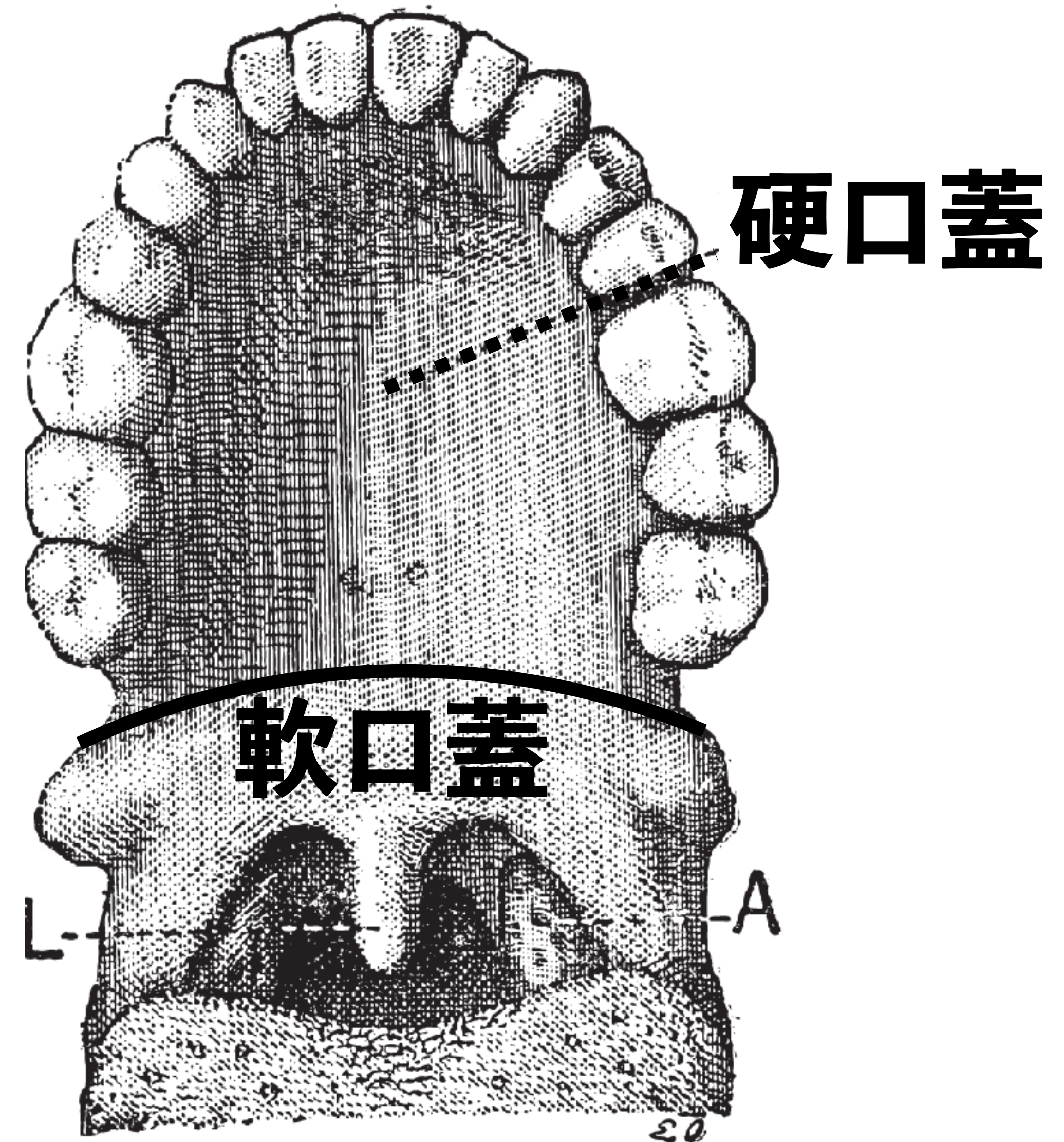
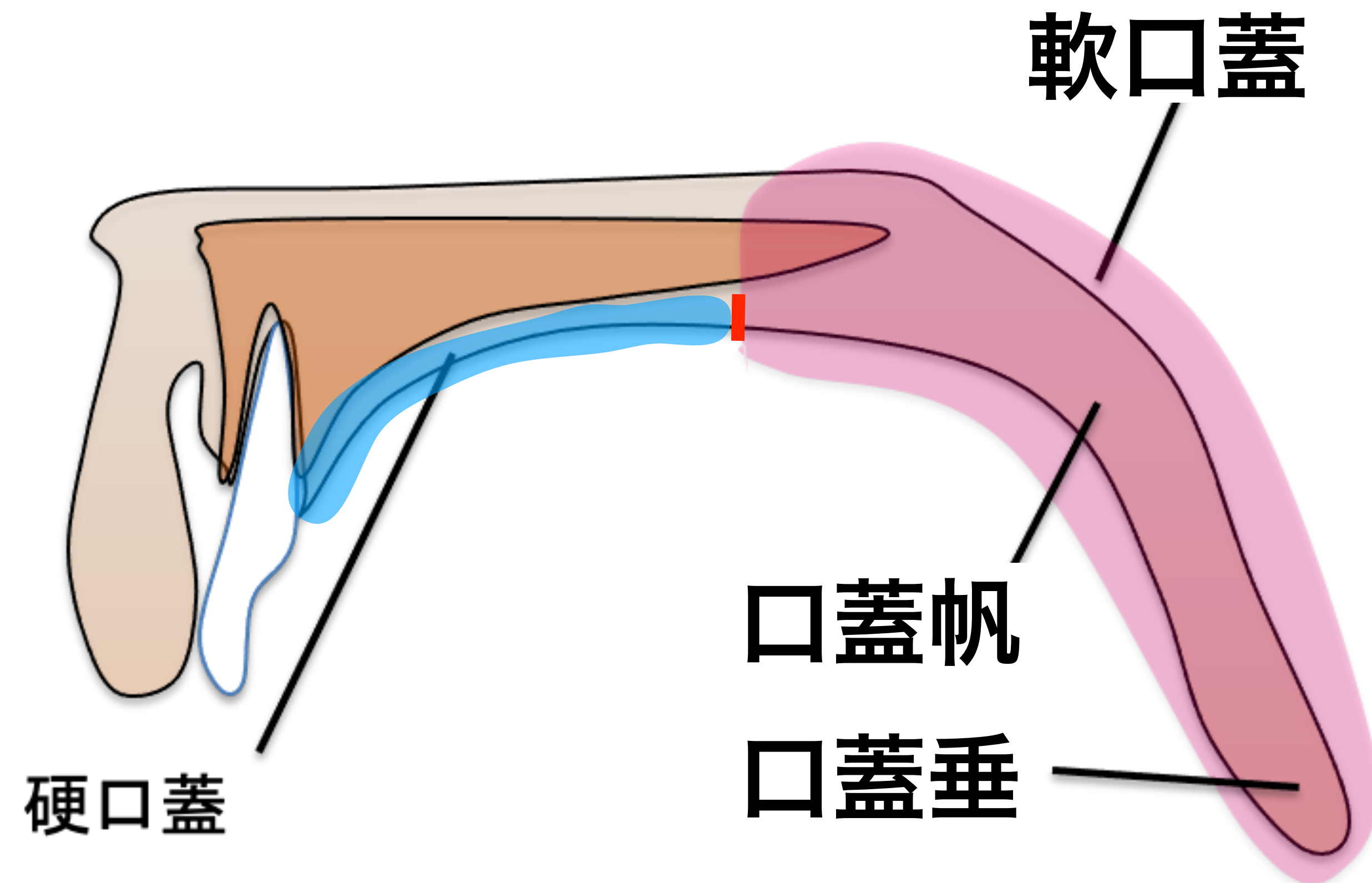


硬口蓋・軟口蓋はどこにあるのか？



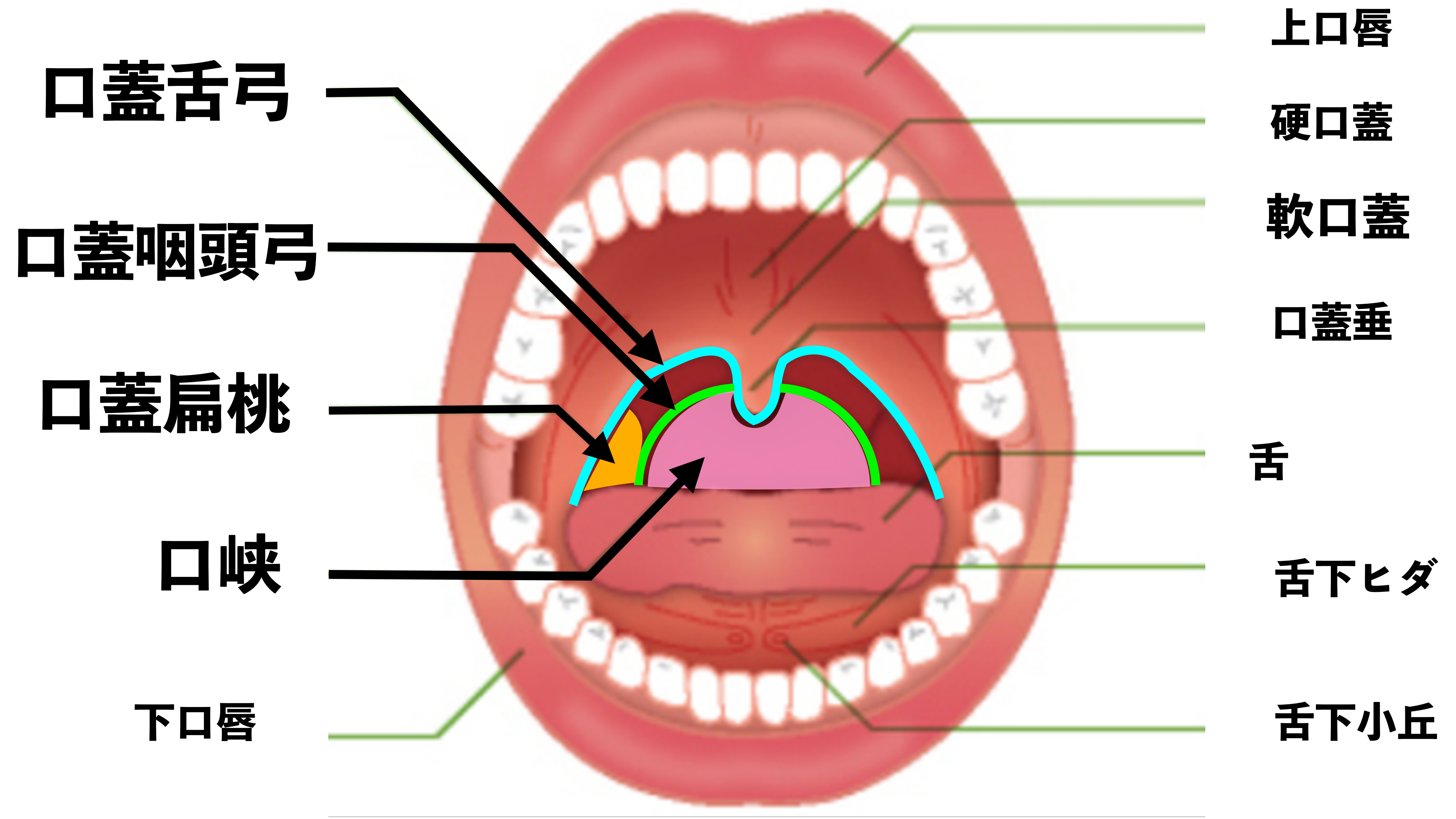


口蓋の解剖について





口蓋弓の解剖について





口腔の解剖について

- ・ 入り口は上下の唇からなっている。
- ・ さらに舌、口腔底（舌と歯ぐきの間）、上下の歯肉（歯ぐき）、頬粘膜（頬の内側）、硬口蓋（口の天井）に分けることができる。
- ・ 硬口蓋の後方は軟口蓋、口蓋垂に連続している。
- ・ 歯以外の口腔は重層扁平上皮からなる粘膜で覆われ、粘膜の下には唾液腺（小唾液腺）がある
- ・ 上下の顎（あご）にはそれぞれ成人では14～16本の永久歯が、小児では10本の乳歯が生えている。
- ・ 口腔には耳下腺、顎下腺、舌下腺（大唾液腺）の管が開いており、そこから唾液が出て粘膜を潤している



口腔の解剖について（まとめ）



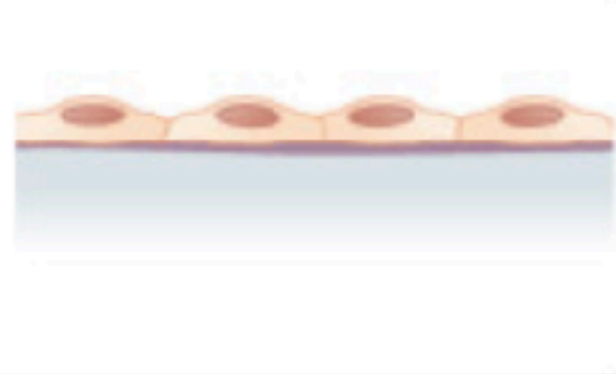
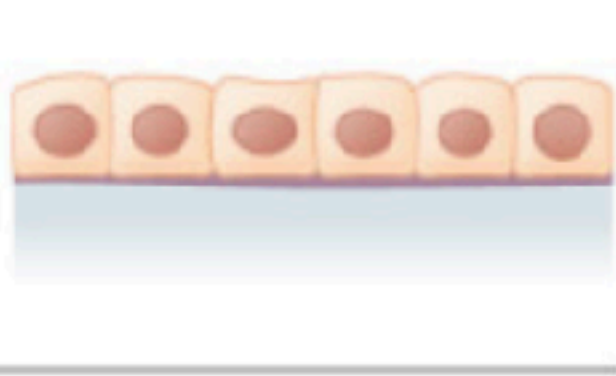
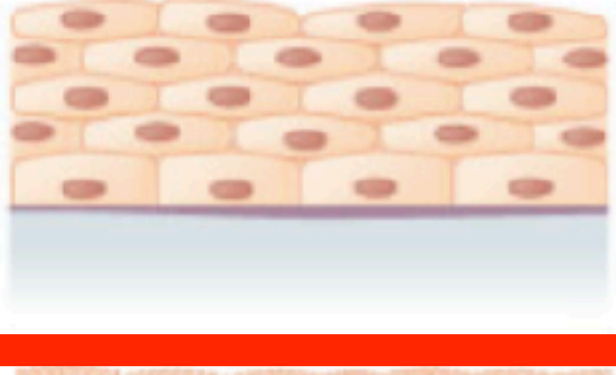

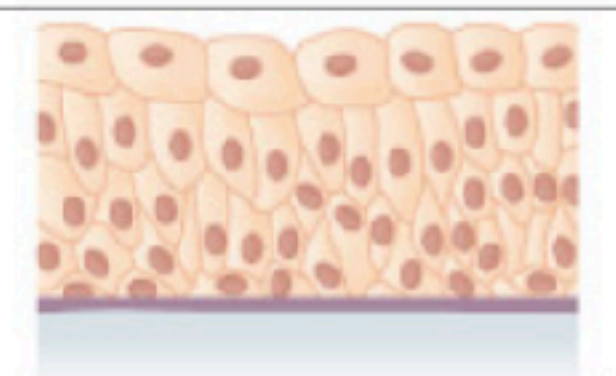


口腔の解剖について

- ・ 入り口は上下の唇からなっている。
- ・ さらに舌、口腔底（舌と歯ぐきの間）、上下の歯肉（歯ぐき）、頬粘膜（頬の内側）、硬口蓋（口の天井）に分けることができる。
- ・ 硬口蓋の後方は軟口蓋、口蓋垂に連続している。
- ・ 歯以外の口腔は重層扁平上皮からなる粘膜で覆われ、粘膜の下には唾液腺（小唾液腺）がある
- ・ 上下の顎（あご）にはそれぞれ成人では14～16本の永久歯が、小児では10本の乳歯が生えている。
- ・ 口腔には耳下腺、顎下腺、舌下腺（大唾液腺）の管が開いており、そこから唾液が出て粘膜を潤している



上皮組織の形態による分類

	単層扁平上皮	胸膜, 腹膜, 血管内皮, 肺胞など	薄いので物質の交換などに向く。
	単層立方上皮	甲状腺の濾胞上皮, 尿細管の一部, 上皮細胞(脳室)	甲状腺の濾胞細胞など。
	単層円柱上皮	消化器系(胃, 小腸, 大腸) 卵管・子宮など	吸収と分泌を行う場所に向く。
	重層扁平上皮	皮膚, 口腔～食道, 肛門, 膣など	摩擦など機械的刺激に強い。
	多列上皮	鼻腔～気管・気管支 (気道)	表面に線毛があり杯細胞が豊富。線毛と粘液で塵や異物をからめとる。
	移行上皮	腎杯腎盂～尿管～膀胱 (尿路)	伸び縮みすることができる。



口腔粘膜とは？

口の内側にある粘膜で、口腔上皮と呼ばれる重層扁平上皮と粘膜固有層と呼ばれる結合組織から構成される

咀嚼粘膜

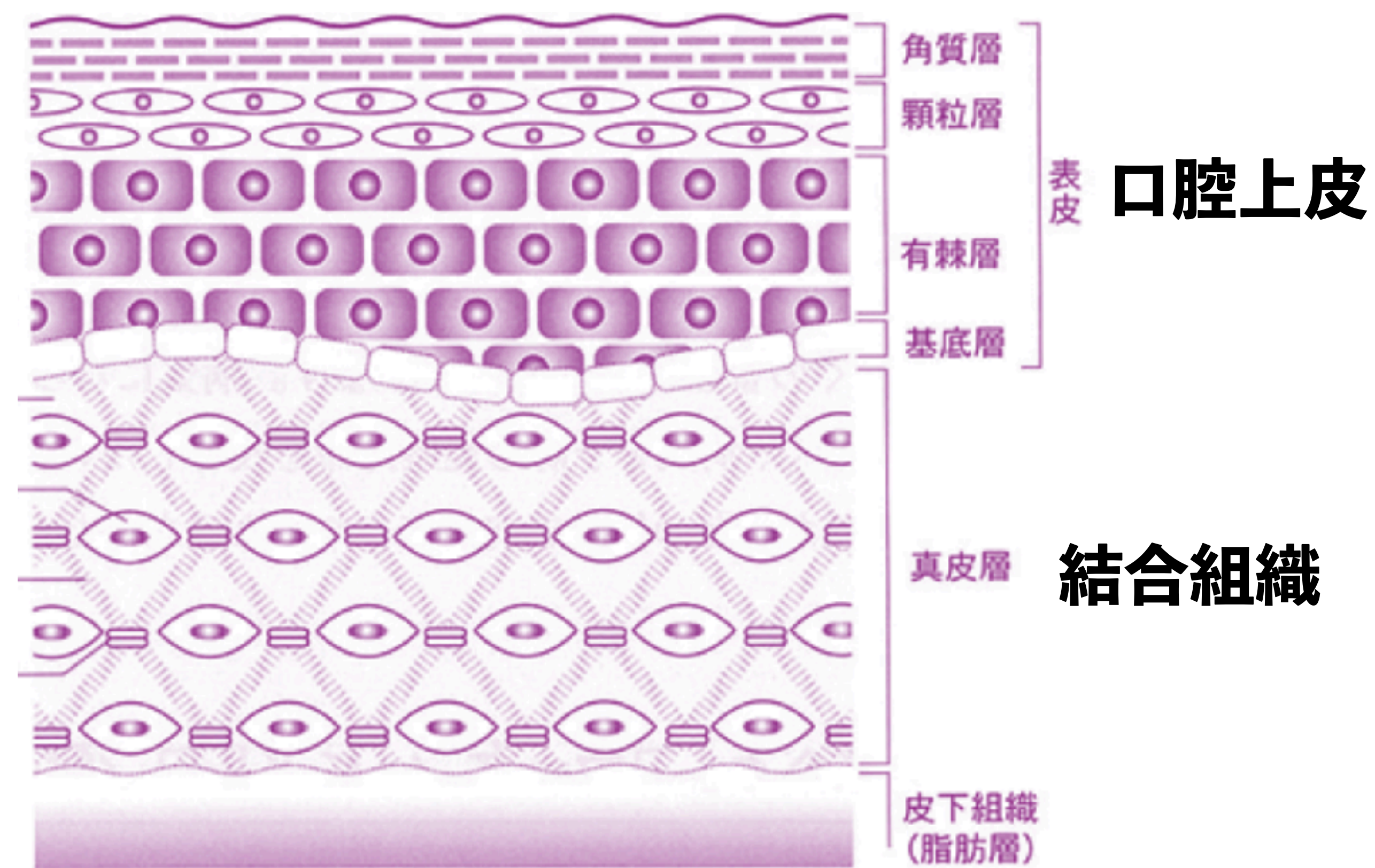
- ・ 部位：歯肉・硬口蓋
- ・ 角化重層上皮、骨と直接結合している

被覆（裏装）粘膜

- ・ 部位：口腔・頬・舌下面・
口底・軟口蓋・歯槽粘膜
- ・ 非角化重層上皮

特殊粘膜

- ・ 部位：舌背
- ・ 舌背にある糸状・茸状・有郭乳頭からなる
- ・ 味蕾が局在し、感覚受容機能を有する



唾液腺（小唾液腺）があり



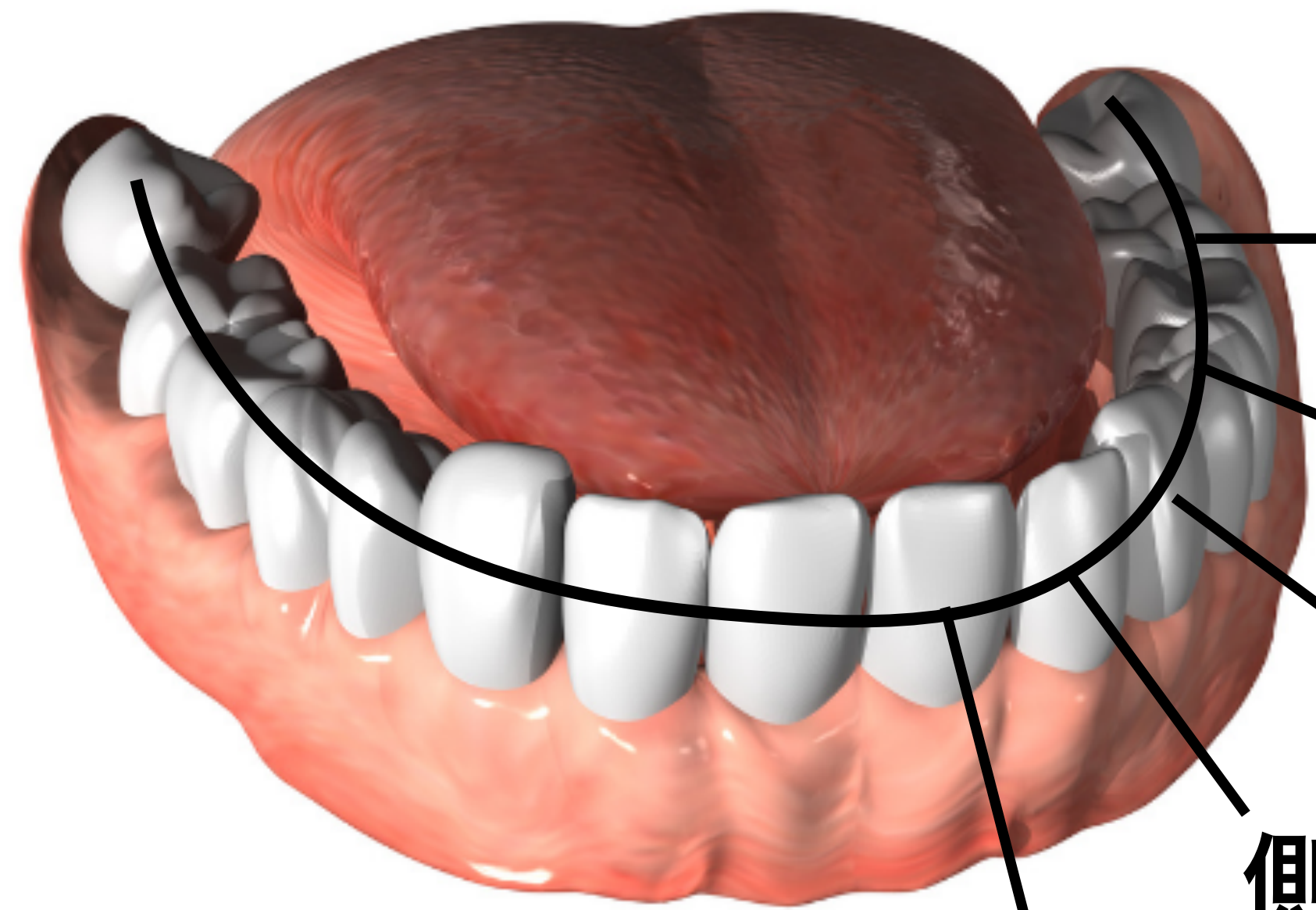
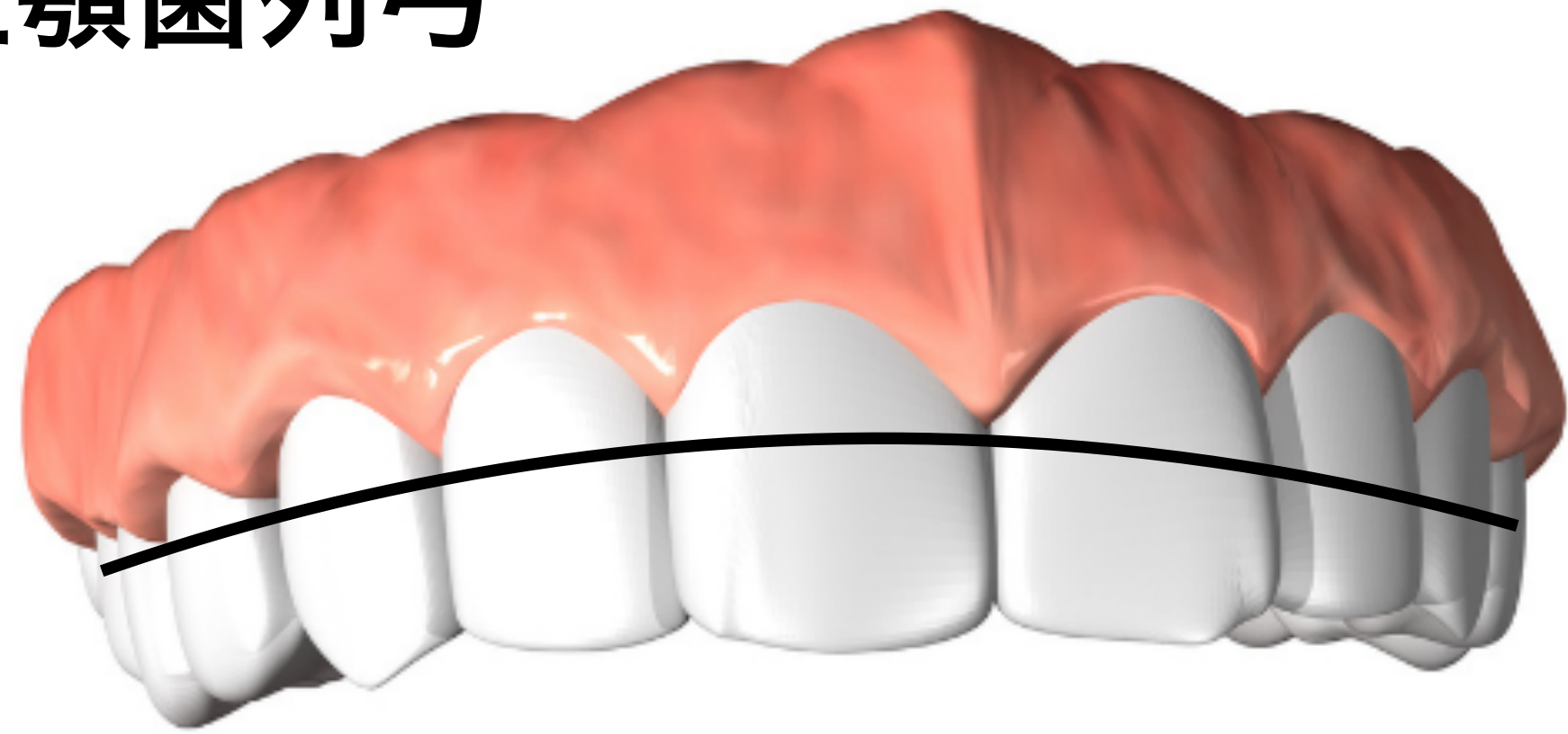
口腔の解剖について

- ・ 入り口は上下の唇からなっている。
- ・ さらに舌、口腔底（舌と歯ぐきの間）、上下の歯肉（歯ぐき）、頬粘膜（頬の内側）、硬口蓋（口の天井）に分けることができる。
- ・ 硬口蓋の後方は軟口蓋、口蓋垂に連続している。
- ・ 歯以外の口腔は重層扁平上皮からなる粘膜で覆われ、粘膜の下には唾液腺（小唾液腺）がある
- ・ 上下の顎（あご）にはそれぞれ成人では14～16本の永久歯が、小児では10本の乳歯が生えている。
- ・ 口腔には耳下腺、顎下腺、舌下腺（大唾液腺）の管が開いており、そこから唾液が出て粘膜を潤している



歯の構造について

上顎歯列弓



下顎歯列弓

大白歯

小白歯

犬歯

側切歯

中切歯

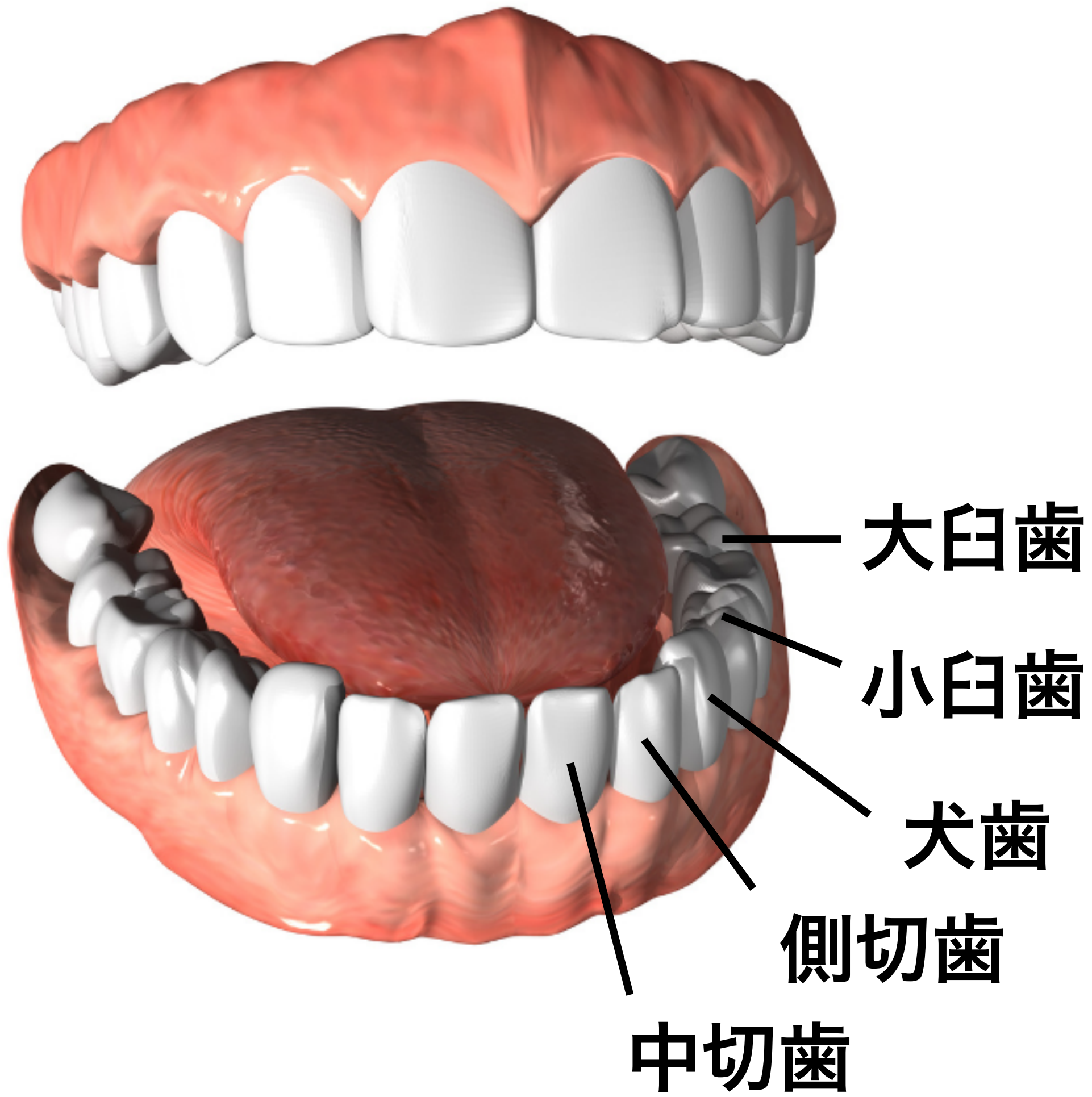
*歯 (tooth) は、口腔内にある咀嚼するための一番目の器官。

*ヒトの口腔内にある全歯を歯列という。上顎側に並ぶ歯を上顎歯列弓、下顎側に並ぶ歯を下顎歯列弓という

*人間の永久歯は大きく切歯、犬歯、小白歯、大白歯の4歯種に分けることができる



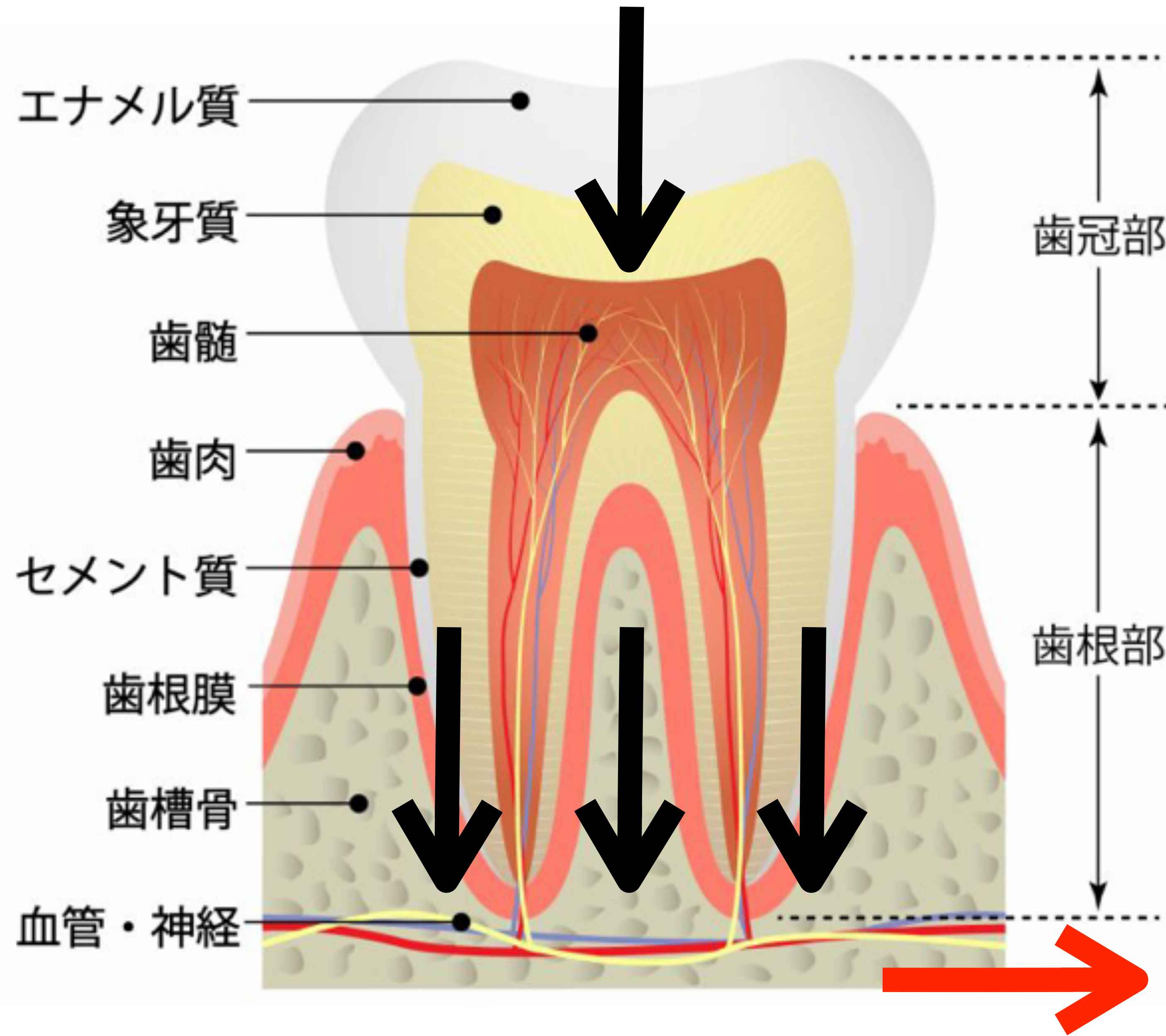
歯の構造について



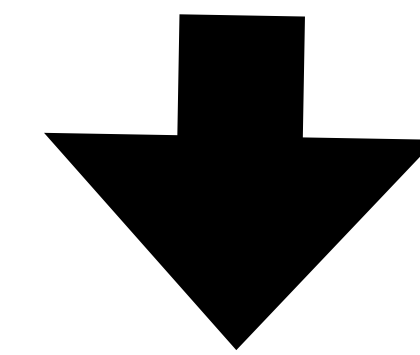
歯の種類	歯の形	特徴	食事の時の役割	歯の種類別の役割
切歯		歯の厚みは薄く、先端が鋭い。 ノミのような形をしている。 上顎と下顎の切歯が噛み合うとはさみのような形になる。	食物を捕らえて噛み切る。	<ul style="list-style-type: none"> 発音。 見た目の審美性が大きい。 顎を前に動かす際に顎を誘導する。
犬歯		切歯よりも長くて太く、先のとがった円錐形をしている。	食物を噛み切る。 引き裂く。	<ul style="list-style-type: none"> 切歯と臼歯をつなぐ。 審美性にも関わっている。 切歯や臼歯にかかる負担を軽減する。 顎を左右に動かす時のガイド役になる。
小臼歯		噛み合わせ面に少し凹凸があるが、臼(うす)のような形をしているので臼歯と呼ばれる。	切歯や犬歯で噛み切った食物を砕く。	<ul style="list-style-type: none"> 噛み合わせの位置と顎の動きを正常に行なうための大切な役割を担っている。
大臼歯			切歯や犬歯で噛み切った食物をすりつぶしたり、細かくする。	<ul style="list-style-type: none"> 噛み合わせを安定させる。 食べる時に大変重要な働きをする歯。失うと他の歯に大きな負担がかかる。



歯の構造について



***歯の有無によって
→歯根膜・歯槽骨
への感覚入力の違い**

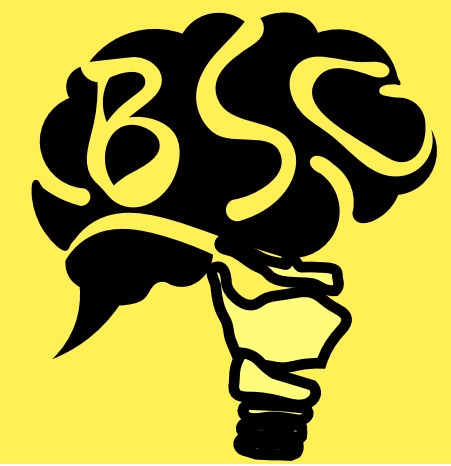


**咀嚼筋などの筋活動も
大きく関与する！**

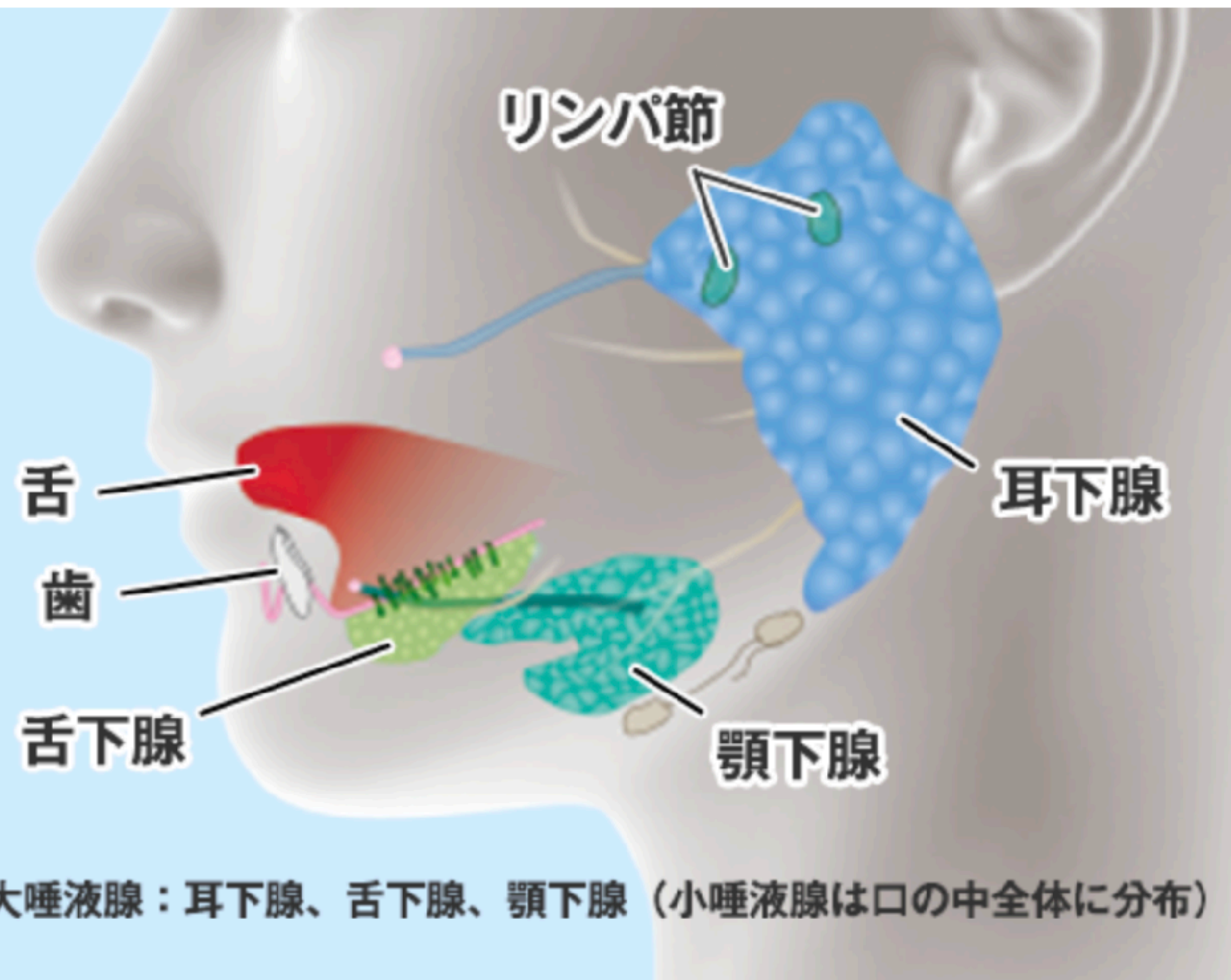


口腔の解剖について

- ・ 入り口は上下の唇からなっている。
 - ・ さらに舌、口腔底（舌と歯ぐきの間）、上下の歯肉（歯ぐき）、頬粘膜（頬の内側）、硬口蓋（口の天井）に分けることができる。
 - ・ 硬口蓋の後方は軟口蓋、口蓋垂に連続している。
 - ・ 歯以外の口腔は重層扁平上皮からなる粘膜で覆われ、粘膜の下には唾液腺（小唾液腺）がある
 - ・ 上下の顎（あご）にはそれぞれ成人では14～16本の永久歯が、小児では10本の乳歯が生えている。
- ・ 口腔には耳下腺、顎下腺、舌下腺（大唾液腺）の管が開いており、そこから唾液が出て粘膜を潤している



耳下腺、顎下腺、舌下腺の解剖について



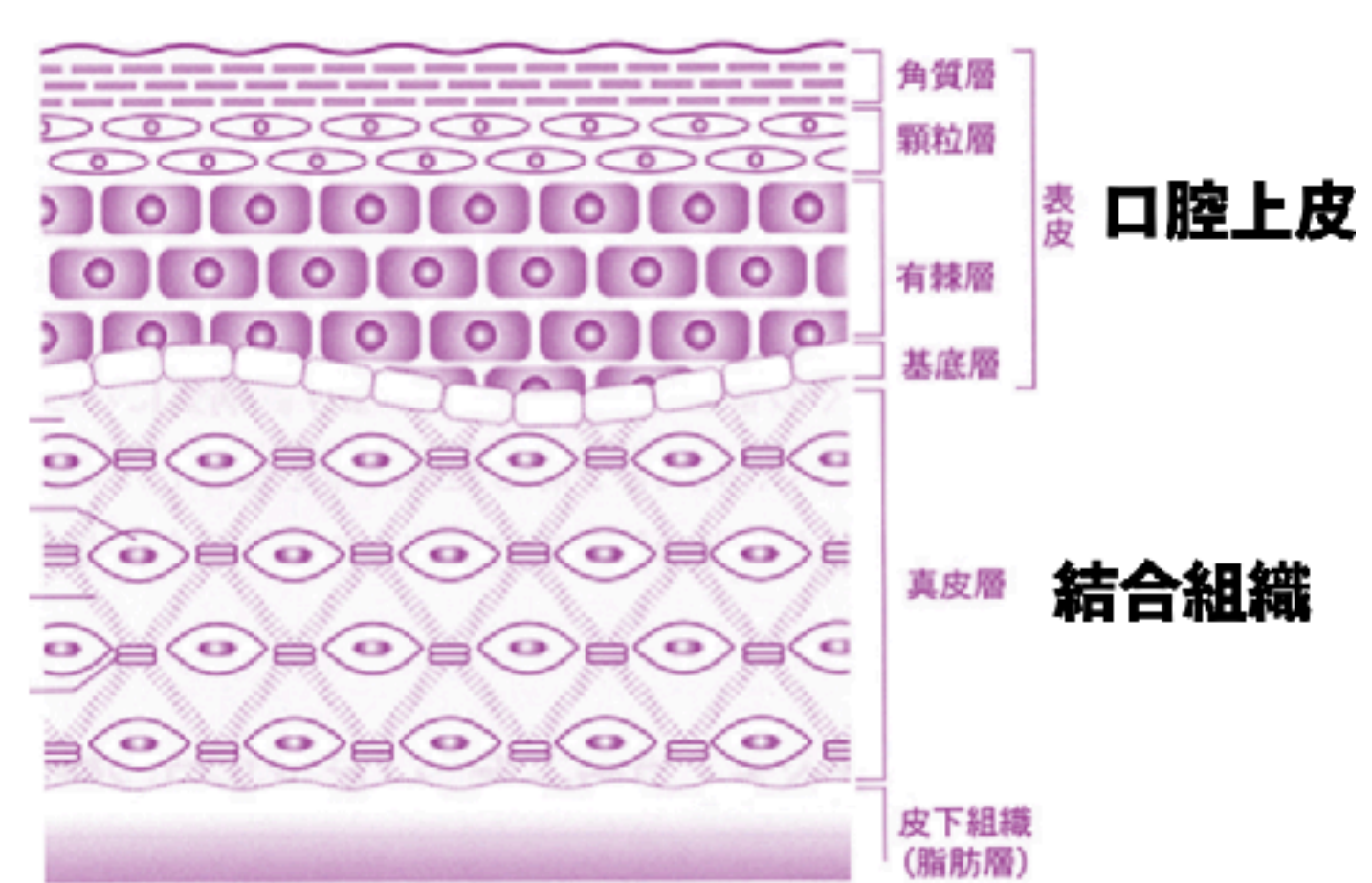
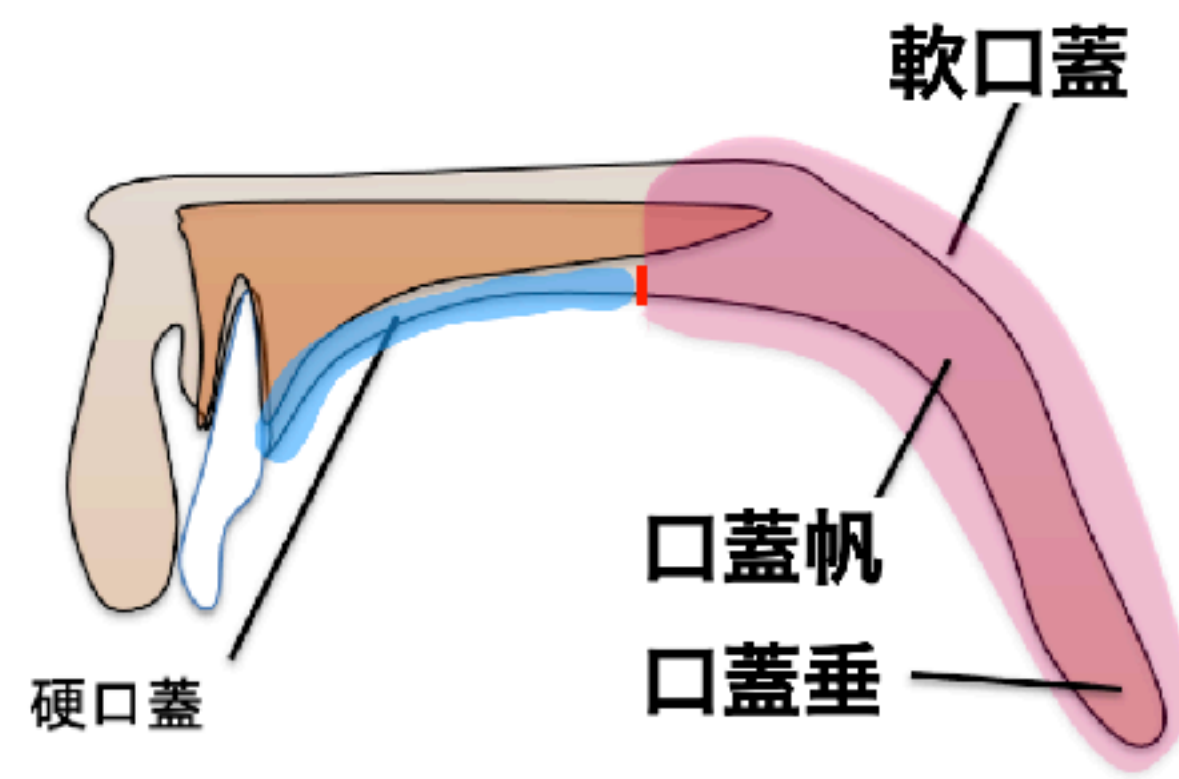
耳下腺：口腔前庭

顎下腺・舌下腺

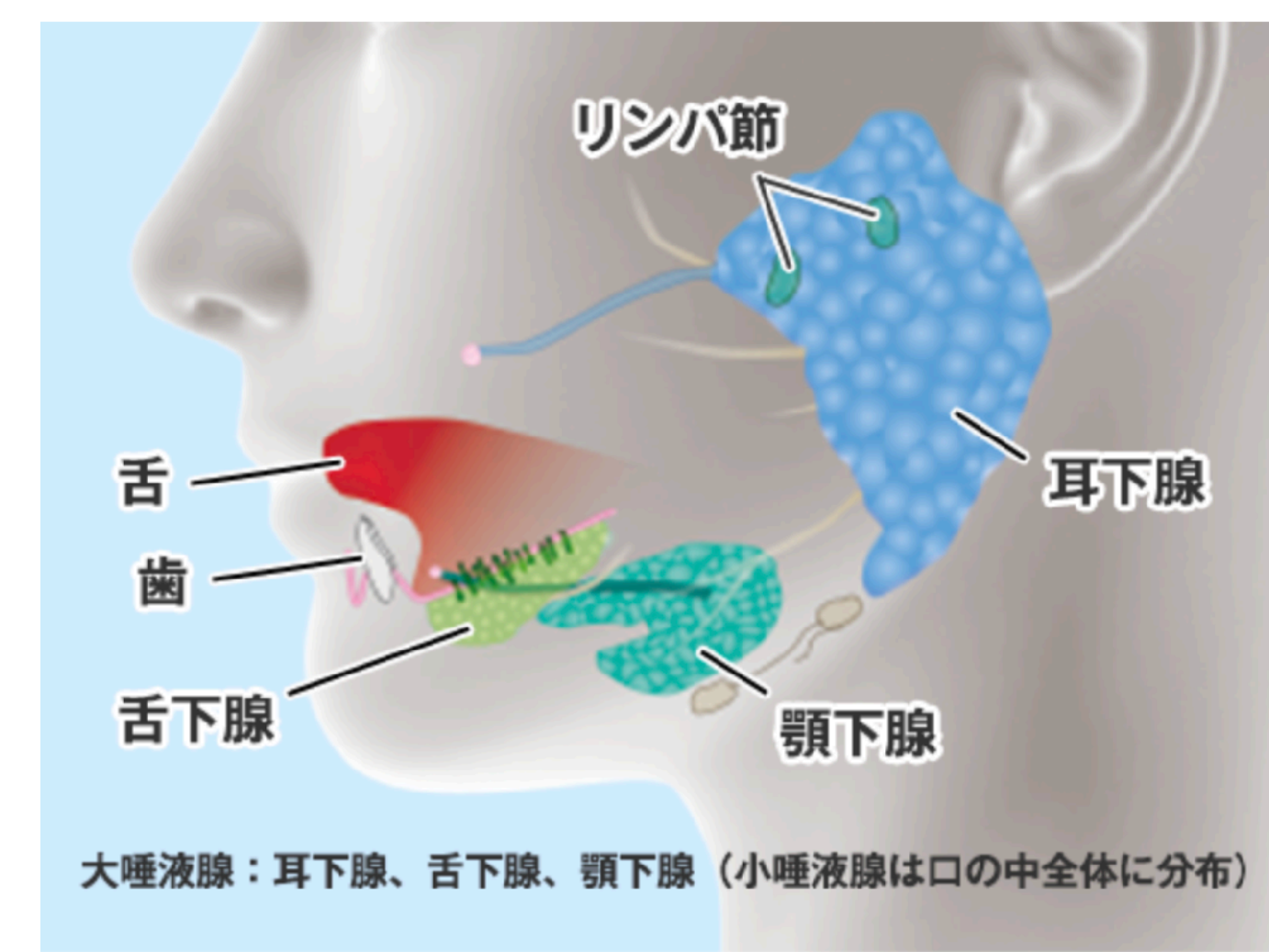
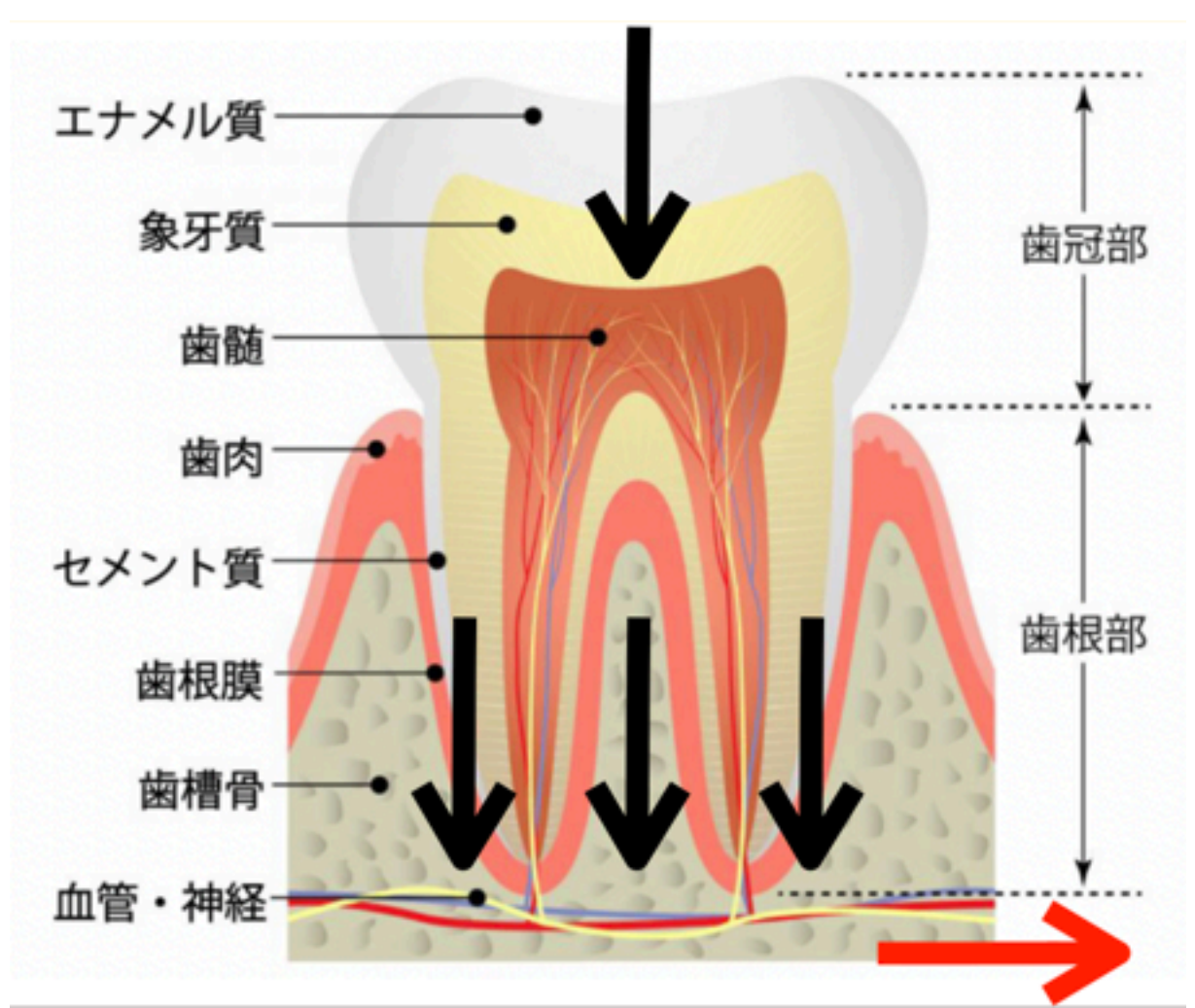
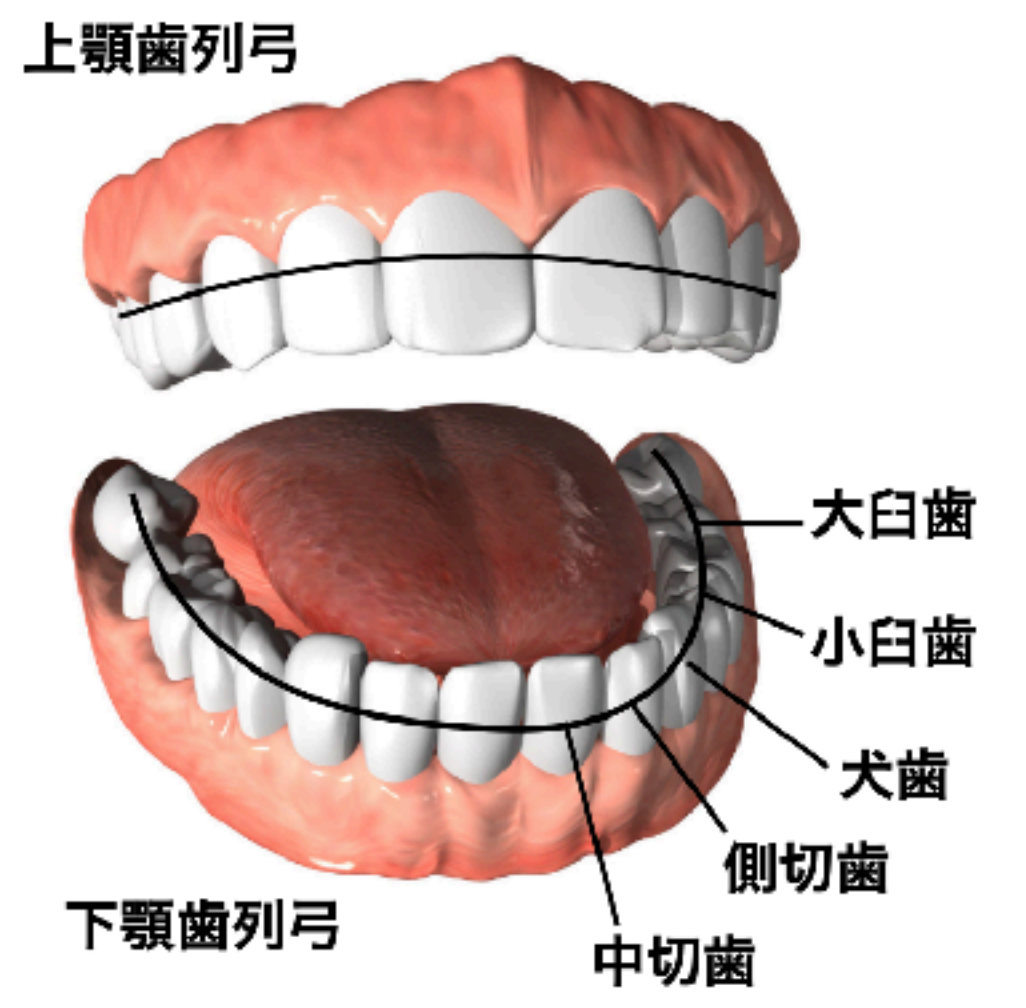
→ **舌下小丘（口腔底）**



口腔の解剖について（まとめ）



唾液腺（小唾液腺）があり



大唾液腺：耳下腺、舌下腺、顎下腺（小唾液腺は口の中全体に分布）



口腔の役割とは？

口腔の働きには

①

②

③

④

⑤

いずれも日常生活に不可欠な働きをする



口腔の役割とは？

口腔の働きには

食物を摂取する（摂食：せっしょく）

噛み砕く（咀嚼：そしゃく）

味わう（感覚）

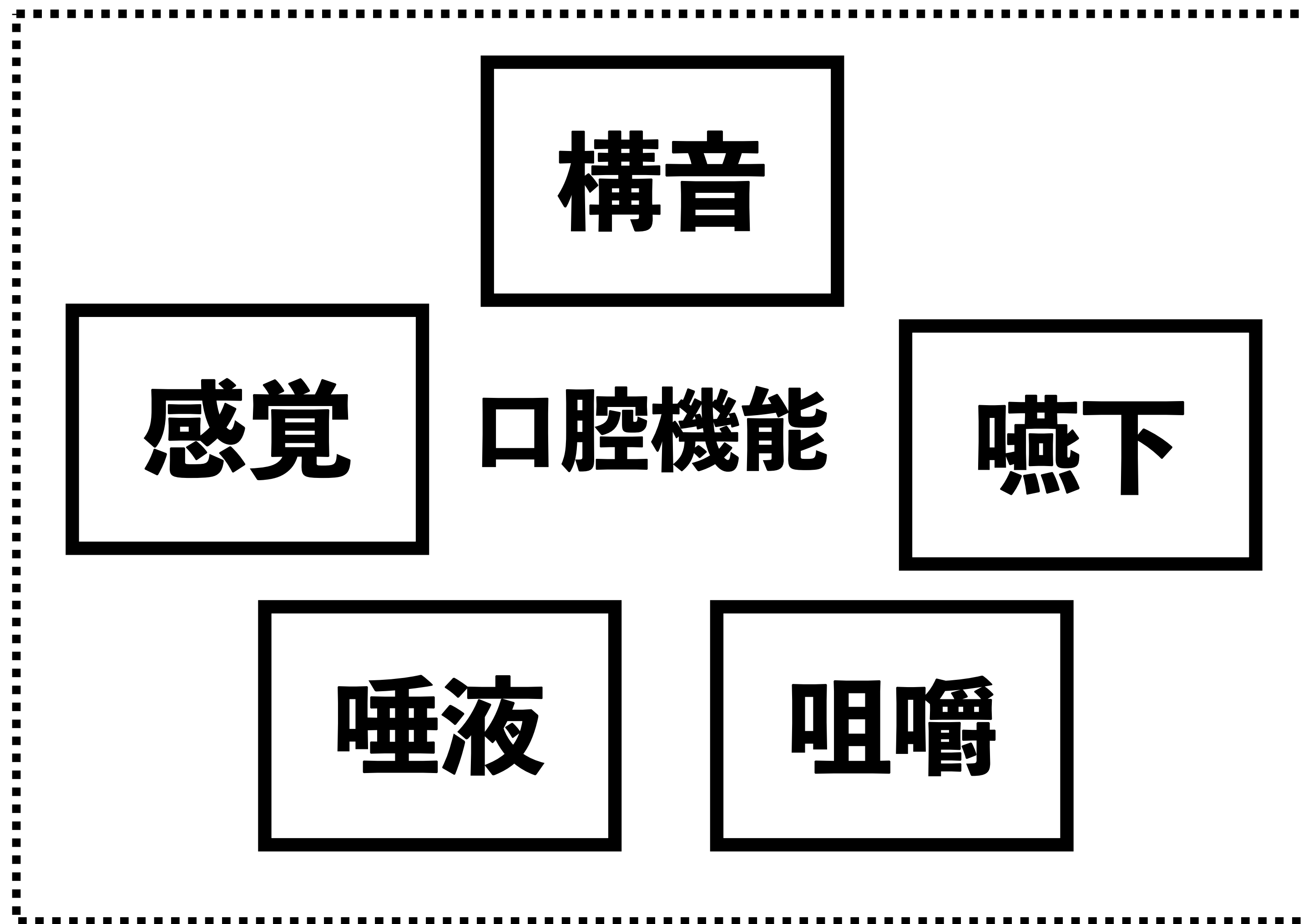
飲み込む（嚥下：えんげ）

喋る（発音・構音）

いずれも日常生活に不可欠な働きをする

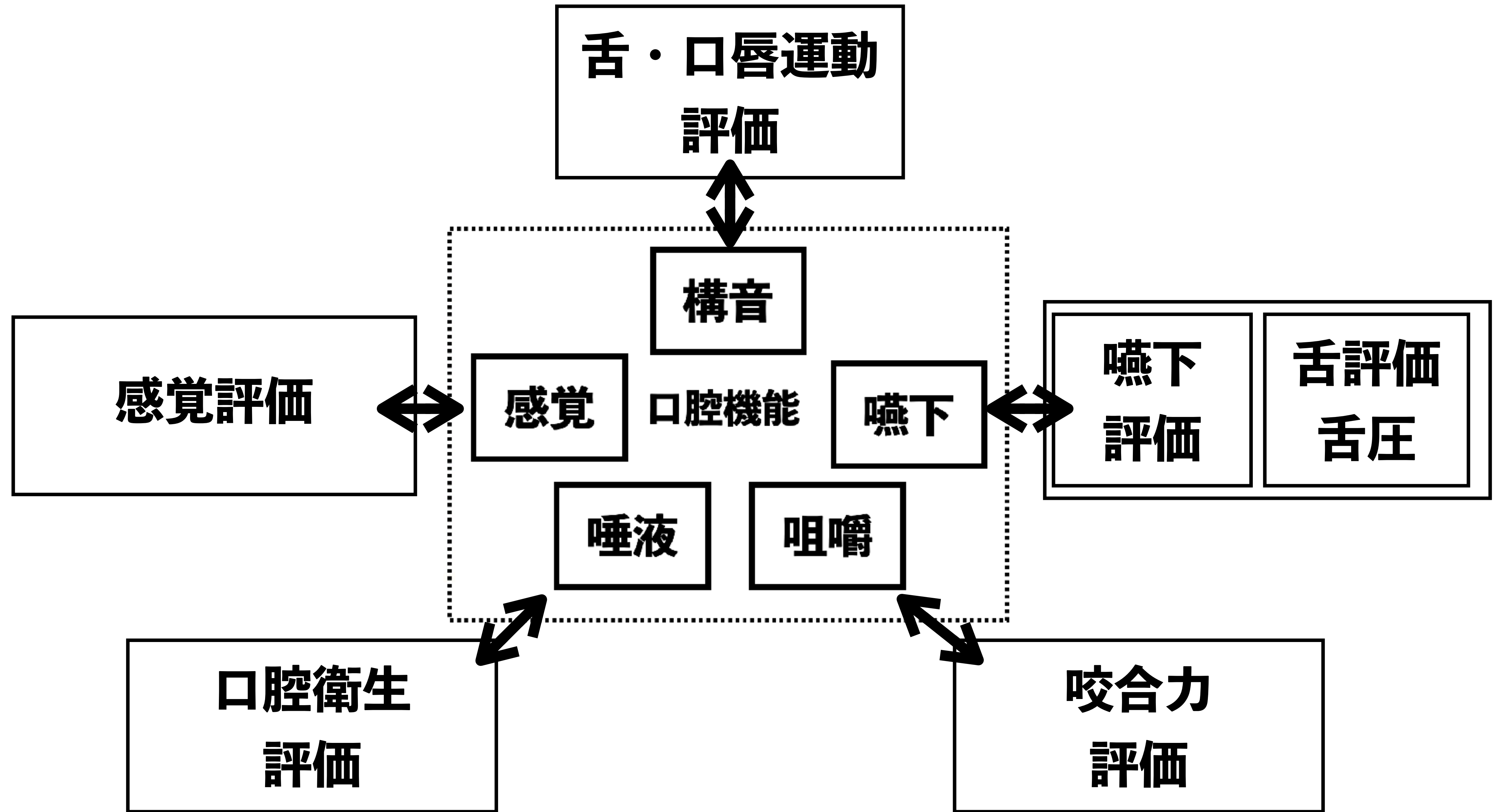


口腔の役割について





口腔の役割・評価について





口腔の役割・評価について（まとめ）

舌・口唇運動評価

発話明瞭度
表情筋評価
口輪筋・頬筋
舌運動評価

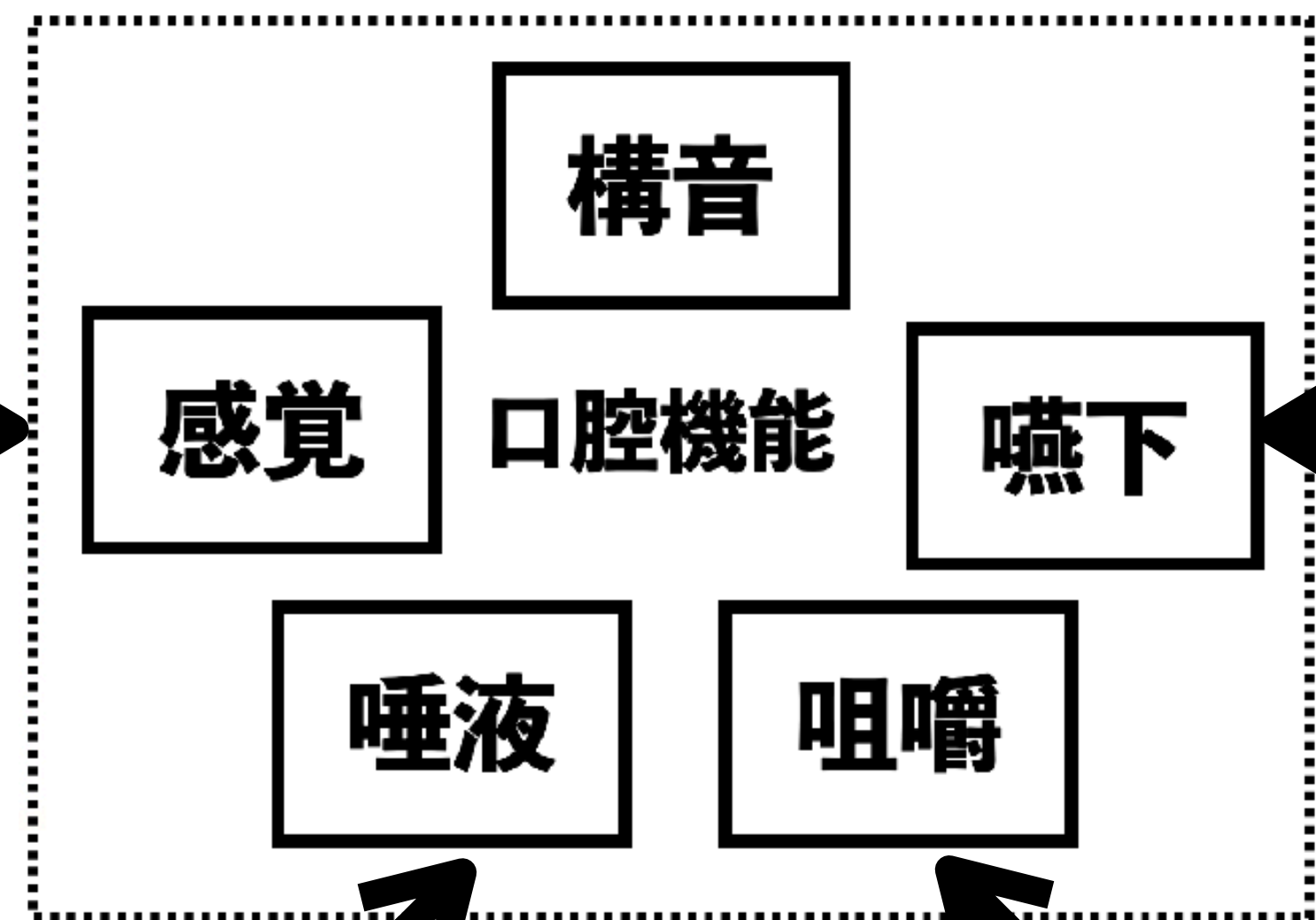
感覚評価

体性感覚（触圧覚・痛覚・温度覚）・味覚
舌：位置覚・運動覚

三叉神経 支配筋：咀嚼筋 顔面の皮膚・鼻腔から咽頭鼻部粘膜 舌の前2/3感覚繊維 (触覚・痛覚・温度覚)	舌咽神経 支配筋：茎突咽頭筋 舌・咽頭粘膜の感覚 唾液分泌	迷走神経 支配筋：咽頭収縮筋 咽頭・喉頭の感覚 (咽頭神経・上喉頭神経) 内臓感覚・運動感覚 発声に関与(声帯閉鎖)
---	---	--

味覚

筋紡錘が豊富!



嚥下評価

ムセ
湿性嘔声

嚥下反射評価

- ① 拳上範囲
- ② スピード
- ③ タイミング

舌評価（舌圧）

- ① 延舌
- ② 拳上
- ③ 定位
- ④ 舌圧

触診・筋力・舌圧計

口腔衛生評価

口腔内乾燥・口臭
汚れ（口蓋・歯・義歯）
舌苔・痰の有無
口腔内残渣

咬合力評価

歯の本数
歯の問題（う蝕・破折・咬合性）
義歯の問題（適合性・破損・痛み）
歯肉の状態（炎症など）